

個別事項「プロセス指標」

自治体名 **津軽圏域**

胃がん検診（胃部X線）

プロセス指標	許容値等	津軽圏域	—	青森県	全国	対象年度	対象年齢
検診受診率	30%以上※	7.2%	—	7.9%	2.6%	令和2年度	40～74歳 男女計
要精検率	11.0%以下	11.2%	—	7.9%	6.3%	令和元年度	40～74歳 男女計
精検受診率	70%以上	74.8%	—	77.6%	80.1%	令和元年度	40～74歳 男女計
精検未受診率	20%以下	6.6%	—	6.8%	7.6%	令和元年度	40～74歳 男女計
精検未把握率	10%以下	18.6%	—	15.6%	12.3%	令和元年度	40～74歳 男女計
陽性反応適中度	1.0%以上	0.8%	—	1.1%	1.5%	平成29～令和元年度	40～74歳 男女計
がん発見率	0.11%以上	0.09%	—	0.09%	0.10%	平成29～令和元年度	40～74歳 男女計

※1 プロセス指標で求められている目標値(50%以上)と算定方法が異なるため、便宜上30%を最大値としてグラフを作成する。

※2 胃管内視鏡検査も実施している場合、検診受診率が見かけ上、低くなっている可能性がある。

【県コメント】

<検診受診率>

県平均以下となっています。対象者を全員把握できているか、対象者へのコール・リコールが実施できているか、受診者の利便性（休日夜間の検診、バス送迎等）が確保できているか等検討してください。

<要精検率>

許容値以下となるよう、有症状者が検診を受けていないか検討するとともに、有病率の高い年齢層・初回受診者に偏っていないか、各検診機関の判定基準が適切か確認する必要があります。

<精検未受診率>

許容値以下となっていますが、精検未把握率が高い場合、見かけ上未受診率が低くなることに注意してください。

<精検未把握率>

許容値以下となるよう、「精検受診の有無及び精検結果」を確実に把握できる体制ができているか検討してください。

プロセス指標(抜粋) 結果

レーダーチャートが

大きい場合：結果が良好
小さい場合：改善が必要
を表しています。

精検未把握率
0%

検診受診率
30%

要精検率
0%

精検未受診率
0%

精検受診率
70%

● 津軽圏域 ● 青森県

※要精検率については、低すぎる（レーダーチャートが大きすぎる）時も、問題がある場合があります。
→参考資料4 参照

※精密検査の未受診と未把握の分類の仕方は下記で確認できます。
→参考資料3 参照

個別事項「プロセス指標」

自治体名 **津軽圏域**

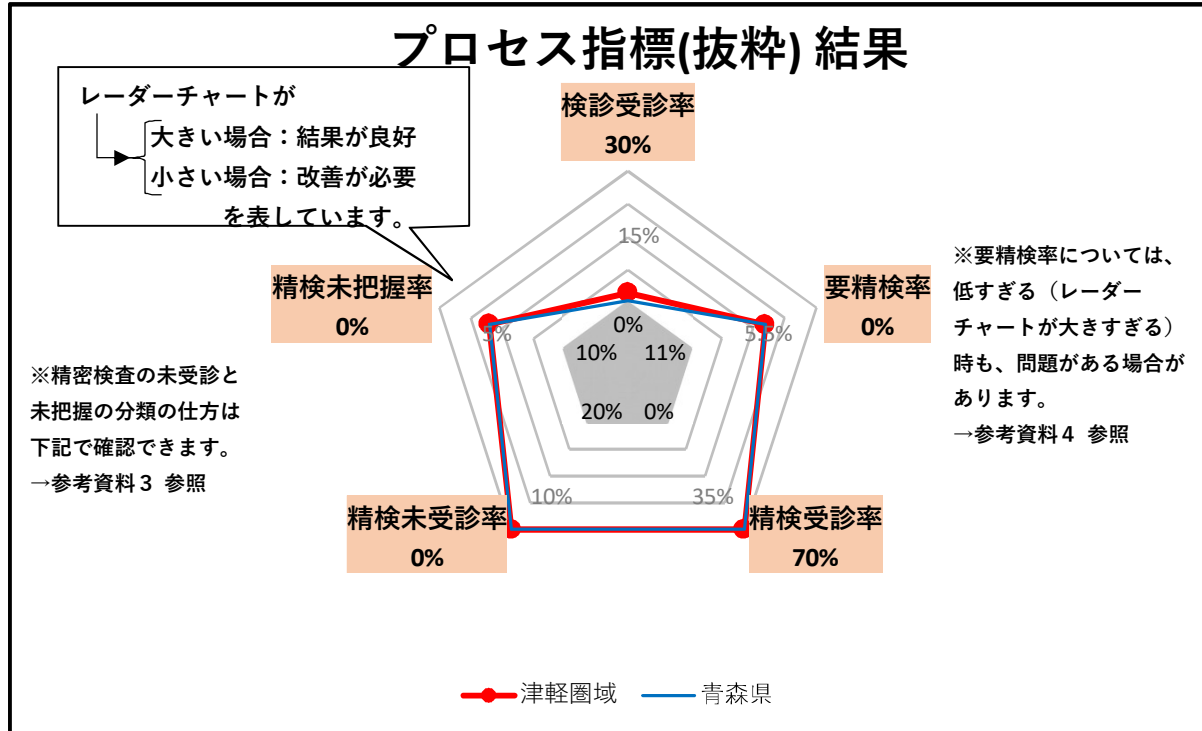
胃がん検診（胃部内視鏡）

プロセス指標	許容値等	津軽圏域	—	青森県	全国	対象年度	対象年齢
検診受診率	30%以上※	2.3%	—	0.6%	1.1%	令和2年度	50～74歳 男女計
要精検率	11.0%以下	4.5%	—	4.5%	7.4%	令和元年度	50～74歳 男女計
精検受診率	70%以上	96.0%	—	96.0%	93.8%	令和元年度	50～74歳 男女計
精検未受診率	20%以下	0.0%	—	0.0%	1.6%	令和元年度	50～74歳 男女計
精検未把握率	10%以下	4.0%	—	4.0%	4.7%	令和元年度	50～74歳 男女計
陽性反応適中度	1.0%以上	6.3%	—	6.3%	3.8%	平成30～令和元年度	50～74歳 男女計
がん発見率	0.11%以上	0.30%	—	0.30%	0.29%	平成30～令和元年度	50～74歳 男女計

※1 プロセス指標で求められている目標値(50%以上)と算定方法が異なるため、便宜上30%を最大値としてグラフを作成する。

※2 2年連続受診者の算定が困難であるため、その者がいた場合、検診受診率に含まれている。

【県コメント】



個別事項「プロセス指標」

自治体名 **津軽圏域**

大腸がん検診

プロセス指標	許容値等	津軽圏域	—	青森県	全国	対象年度	対象年齢
検診受診率	30%以上※	14.5%	—	13.6%	8.4%	令和2年度	40～74歳 男女計
要精検率	7.0%以下	6.2%	—	5.9%	6.5%	令和元年度	40～74歳 男女計
精検受診率	70%以上	73.3%	—	72.9%	71.1%	令和元年度	40～74歳 男女計
精検未受診率	20%以下	7.6%	—	8.9%	12.1%	令和元年度	40～74歳 男女計
精検未把握率	10%以下	19.2%	—	18.2%	16.8%	令和元年度	40～74歳 男女計
陽性反応適中度	1.9%以上	3.5%	—	3.0%	3.1%	平成29～令和元年度	40～74歳 男女計
がん発見率	0.13%以上	0.21%	—	0.18%	0.20%	平成29～令和元年度	40～74歳 男女計

※プロセス指標で求められている目標値(50%以上)と算定方法が異なるため、便宜上30%を最大値としてグラフを作成する。

プロセス指標(抜粋) 結果

レーダーチャートが
大きい場合：結果が良好
小さい場合：改善が必要
を表しています。

精検未把握率
0%

要精検率 ※要精検率については、
低すぎる（レーダー
チャートが大きすぎる）
時も、問題がある場合が
あります。
→参考資料4 参照

※精密検査の未受診と
未把握の分類の仕方は
下記で確認できます。
→参考資料3 参照

精検未受診率
0%

精検受診率
70%

● 津軽圏域 ● 青森県

【県コメント】

<精検未受診率>
許容値以下となっていますが、精検未把握率が高い場合、見かけ上未受診率が低くなることに注意してください。

<精検未把握率>
許容値以下となるよう、「精検受診の有無及び精検結果」を確実に把握できる体制ができているか検討してください。

個別事項「プロセス指標」

自治体名 **津軽圏域**

肺がん検診

プロセス指標	許容値等	津軽圏域	—	青森県	全国	対象年度	対象年齢
検診受診率	30%以上※	9.1%	—	10.3%	7.3%	令和2年度	40～74歳 男女計
要精検率	3.0%以下	1.0%	—	1.2%	1.8%	令和元年度	40～74歳 男女計
精検受診率	70%以上	89.4%	—	88.4%	83.7%	令和元年度	40～74歳 男女計
精検未受診率	20%以下	1.9%	—	5.6%	6.2%	令和元年度	40～74歳 男女計
精検未把握率	10%以下	8.7%	—	6.0%	10.0%	令和元年度	40～74歳 男女計
陽性反応適中度	1.3%以上	2.8%	—	2.6%	2.4%	平成29～令和元年度	40～74歳 男女計
がん発見率	0.03%以上	0.03%	—	0.03%	0.04%	平成29～令和元年度	40～74歳 男女計

※プロセス指標で求められている目標値(50%以上)と算定方法が異なるため、便宜上30%を最大値としてグラフを作成する。

プロセス指標(抜粋) 結果

レーダーチャートが
大きい場合：結果が良好
小さい場合：改善が必要
を表しています。

精検未把握率
0%

要精検率 ※要精検率については、
低すぎる(レーダー
チャートが大きすぎる)
時も、問題がある場合が
あります。
→参考資料4 参照

※精密検査の未受診と
未把握の分類の仕方は
下記で確認できます。
→参考資料3 参照

精検未受診率 0% 精検受診率 70%

● 津軽圏域 ● 青森県

【県コメント】

<検診受診率>

県平均以下となっています。対象者を全員把握できているか、対象者へのコール・リコールが実施できているか、受診者の利便性(休日夜間の検診、バス送迎等)が確保できているか等検討してください。

個別事項「プロセス指標」

自治体名 **津軽圏域**

乳がん検診

プロセス指標	許容値等	津軽圏域	(うち前年度未受診)	(うち2年連続受診)	—	青森県	全国	対象年度	対象年齢
検診受診率	30%以上※	22.6%	22.31%	0.29%	—	19.6%	15.4%	令和元～2年度	40～74歳 女性
要精検率	11.0%以下	6.5%			—	6.1%	6.0%	令和元年度	40～74歳 女性
精検受診率	80%以上	93.9%			—	91.4%	89.5%	令和元年度	40～74歳 女性
精検未受診率	10%以下	1.7%			—	2.8%	3.0%	令和元年度	40～74歳 女性
精検未把握率	10%以下	4.4%			—	5.8%	7.4%	令和元年度	40～74歳 女性
陽性反応適中度	2.5%以上	5.4%			—	5.5%	5.0%	平成29～令和元年度	40～74歳 女性
がん発見率	0.23%以上	0.33%			—	0.34%	0.31%	平成29～令和元年度	40～74歳 女性

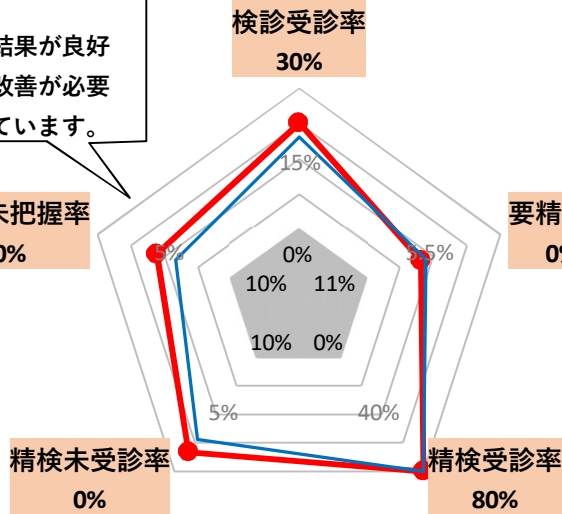
※プロセス指標で求められている目標値(50%以上)と算定方法が異なるため、便宜上30%を最大値としてグラフを作成する。

プロセス指標(抜粋) 結果

レーダーチャートが
大きい場合：結果が良好
小さい場合：改善が必要
を表しています。

精検未把握率
0%

※精密検査の未受診と未把握の分類の仕方は下記で確認できます。
→参考資料3 参照



要精検率 0% ※要精検率については、低すぎる(レーダーチャートが大きすぎる)時も、問題がある場合があります。
→参考資料4 参照

● 津軽圏域 ● 青森県

【県コメント】

<検診受診率(受診間隔)>
受診率は高いほうが望ましい指標ですが、受診間隔(2年に1回)は遵守する必要があります。

個別事項「プロセス指標」

自治体名

津軽圏域

子宮頸がん検診

プロセス指標	許容値等	津軽圏域	(うち前年度 未受診)	(うち2年 連続受診)	—	青森県	全国	対象年度	対象年齢
検診受診率	30%以上※1	23.9%	23.86%	0.03%	—	17.4%	15.0%	令和元～2年度	20～74歳 女性
要精検率	1.4%以下※2	2.5%			—	2.3%	2.2%	令和元年度	20～74歳 女性
精検受診率	70%以上	77.9%			—	81.1%	74.8%	令和元年度	20～74歳 女性
精検未受診率	20%以下	3.3%			—	5.8%	6.3%	令和元年度	20～74歳 女性
精検未把握率	10%以下	18.7%			—	13.1%	18.8%	令和元年度	20～74歳 女性
陽性反応適中度	4.0%以上※3	1.3%			—	1.2%	1.3%	平成29～令和元年度	20～74歳 女性
がん発見率	0.05%以上※3	0.03%			—	0.03%	0.03%	平成29～令和元年度	20～74歳 女性

※1 プロセス指標で求められている目標値(50%以上)と算定方法が異なるため、便宜上30%を最大値としてグラフを作成する。

※2 全国的に近年増加傾向にあり、今後の国の検討状況次第では許容値が見直される可能性があります。

※3 H26以降のがんの定義の変更により以前と比較し減少しているため、今後許容値が見直される可能性があります。

【県コメント】

<検診受診率(受診間隔)>
受診率は高いほうが望ましい指標ですが、受診間隔(2年に1回)は遵守する必要があります。

<要精検率>
許容値以下となるよう、有症状者が検診を受けていないか検討するとともに、有病率の高い年齢層・初回受診者に偏っていないか、各検診機関の判定基準が適切か確認する必要があります。

<精検未受診率>
許容値以下となっていますが、精検未把握率が高い場合、見かけ上未受診率が低くなることに注意してください。

<精検未把握率>
許容値以下となるよう、「精検受診の有無及び精検結果」を確実に把握できる体制ができていないか検討してください。

プロセス指標(抜粋) 結果

レーダーチャートが
大きい場合：結果が良好
小さい場合：改善が必要
を表しています。

精検未把握率
0%

検診受診率
30%

要精検率
0% ※要精検率については、
低すぎる(レーダー
チャートが大きすぎる)
時も、問題がある場合が
あります。
→参考資料4 参照

精検未受診率
0%

精検受診率
70%

● 津軽圏域 ● 青森県

※精密検査の未受診と未把握の分類の仕方は下記で確認できます。
→参考資料3 参照

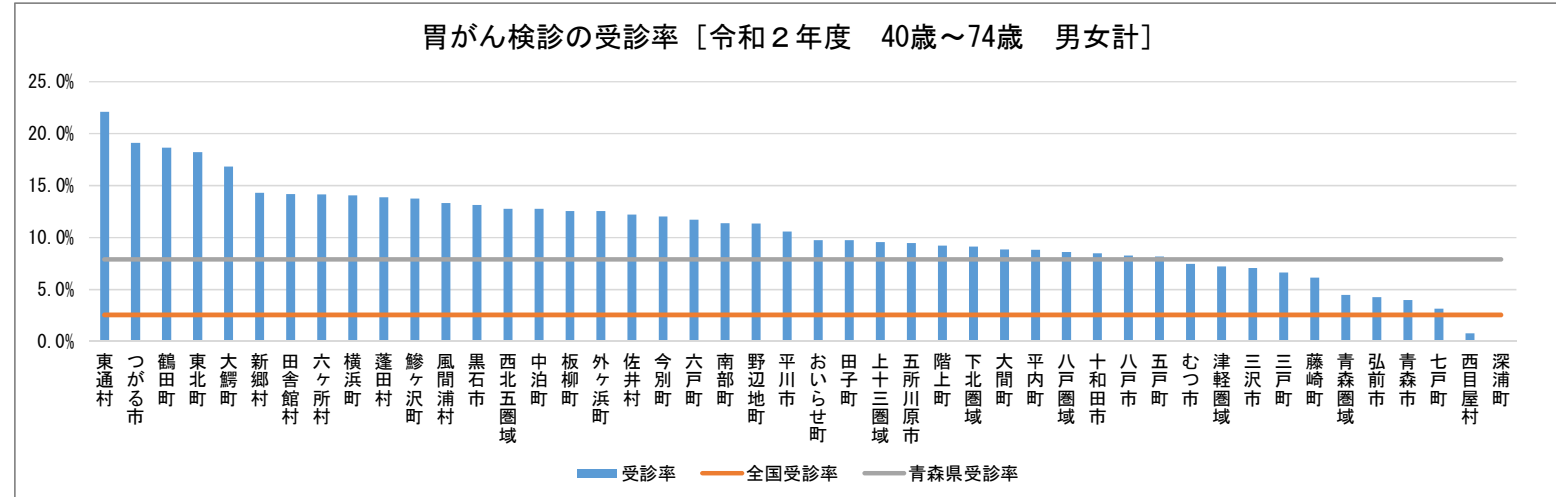
個別事項「プロセス指標」

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項
 [令和5年3月17日付け青が生第1744号通知]

令和2年度 胃がん検診（胃部X線）プロセス指標－受診率－

自治体名	津軽圏域
------	------

1. 胃がん検診（胃部X線）の受診率



指標の意義・一般的な対策

- ・受診率は、高い方が望ましい指標です。精度管理により検診の質を高めた上で、受診率を上げていく必要があります。
- ・性別・年齢階級別／検診機関別／検診歴別（初回・非初回別）の集計・分析は、課題を検討し、対策を講じるうえで必要となるため、台帳の電子システム化等により行えるようにすることが必要です。
- ・特定の年齢層の受診率が低い場合や、初回受診者が少ない場合、個別の受診勧奨・再勧奨の実施や、検診の提供体制（キャパシティ、利便性等）の改善について検討が必要です。

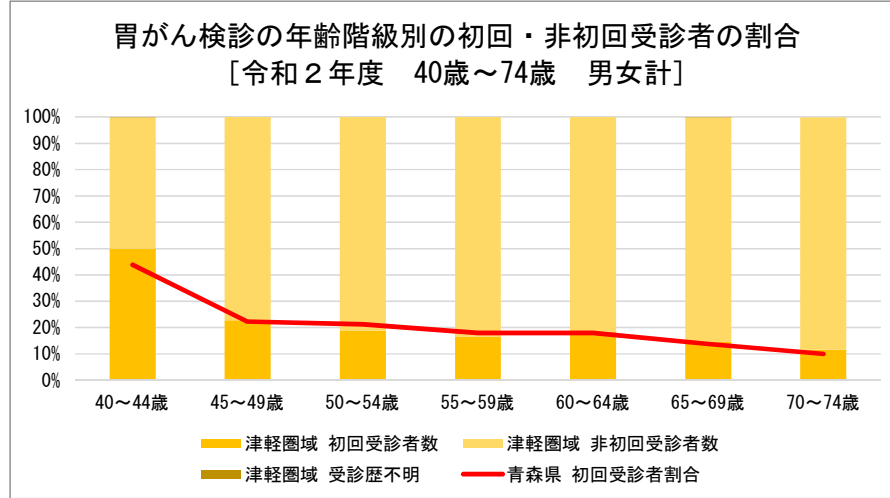
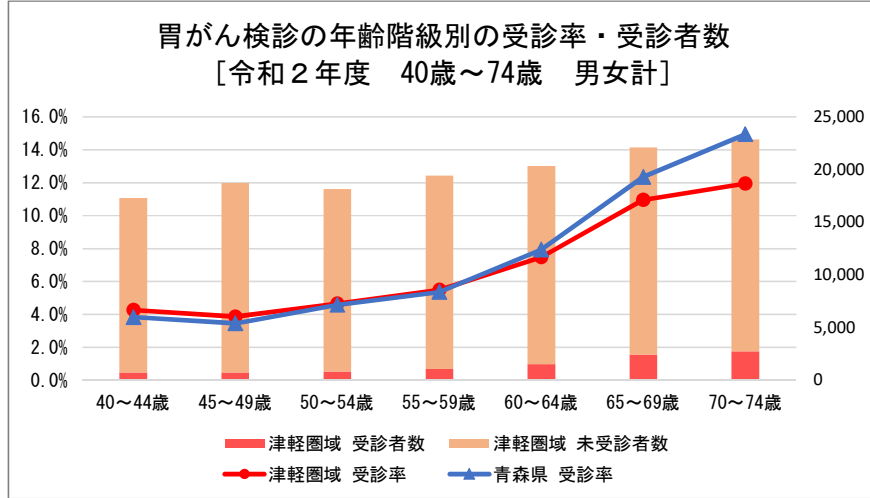
<胃がん検診（胃部X線）の受診率 [令和2年度 40歳～74歳 男女計] >

区分	全国	青森県	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	青森市	弘前市	八戸市	黒石市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市
受診率	2.6%	7.9%	4.5%	7.2%	8.6%	12.8%	9.6%	9.1%	4.0%	4.3%	8.3%	13.1%	9.5%	8.5%	7.1%	7.5%	19.1%	10.6%
順位	—	—	—	—	—	—	—	—	37位	36位	30位	13位	25位	29位	33位	32位	2位	22位
受診者数	1,528,809	50,426	6,942	10,053	13,779	8,231	8,104	3,317	5,698	3,575	9,386	2,201	2,607	2,637	1,273	2,138	3,048	1,614
対象者数	59,915,313	638,864	154,799	138,960	159,670	64,411	84,663	36,361	143,259	83,535	113,313	16,749	27,503	31,082	18,053	28,585	15,933	15,249
区分	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	鱒ヶ沢町	深浦町	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	鶴田町	中泊町	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町
受診率	8.8%	12.0%	13.9%	12.5%	13.7%	0.0%	0.8%	6.1%	16.8%	14.2%	12.6%	18.7%	12.8%	11.4%	3.2%	11.7%	14.1%	18.2%
順位	28位	18位	10位	16位	11位	40位	39位	35位	5位	7位	15位	3位	14位	21位	38位	19位	9位	4位
受診者数	511	156	194	383	685	0	5	451	815	540	852	1,182	709	765	249	625	305	1,570
対象者数	5,789	1,297	1,399	3,055	4,985	4,100	634	7,357	4,844	3,804	6,788	6,333	5,557	6,734	7,872	5,333	2,169	8,614
区分	六ヶ所村	おいらせ町	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村						
受診率	14.1%	9.7%	8.9%	22.1%	13.3%	12.2%	6.6%	8.2%	9.7%	11.4%	9.2%	14.3%						
順位	8位	23位	27位	1位	12位	17位	34位	31位	24位	20位	26位	6位						
受診者数	680	1,217	236	687	131	125	332	714	266	1,036	659	169						
対象者数	4,806	12,492	2,664	3,105	983	1,024	4,994	8,725	2,733	9,092	7,140	1,181						

[受診率の計算方法について]
 受診者数÷対象者数=受診率
 ※他のプロセス指標に合わせ、75歳未満の受診率を計算しているため他の統計の受診率と異なる。
 ※胃内視鏡検査も実施している場合、検診受診率が見かけ上、低くなっている可能性がある。

(出典：R2年度地域保健・健康増進事業報告) ※対象者数（分母）は対象年齢の全住民で、受診者数（分子）は市町村事業の受診者数であり、職域や人間ドックで受診している者は含まれていない。

2. 胃がん検診（胃部X線）の受診者の状況



<胃がん検診（胃部X線）の年齢階級別の受診者数・受診率 [令和2年度 男女計]>

区分		40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	40～69歳	40～74歳
津軽圏域	対象者数	17,316	18,741	18,150	19,421	20,332	22,124	22,876	47,258		186,218	116,084	138,960
津軽圏域	受診者数	740	725	845	1,066	1,518	2,424	2,735	1,559	1,159	12,771	7,318	10,053
津軽圏域	初回受診者数	370	165	160	176	280	357	316	187	145	2,156	1,508	1,824
津軽圏域	非初回受診者数	369	560	685	890	1,238	2,065	2,417	1,372	1,012	10,608	5,807	8,224
津軽圏域	受診歴不明	1	0	0	0	0	2	2	0	2	7	3	5
津軽圏域	受診率	4.3%	3.9%	4.7%	5.5%	7.5%	11.0%	12.0%	5.8%	5.8%	6.9%	6.3%	7.2%
青森県	対象者数	78,249	88,199	85,009	86,462	92,185	102,879	105,881	214,884		853,748	532,983	638,864
青森県	受診者数	3,000	3,047	3,895	4,631	7,310	12,714	15,829	8,567	5,844	64,837	34,597	50,426
青森県	初回受診者数	1,315	679	828	833	1,314	1,742	1,577	747	482	9,517	6,711	8,288
青森県	非初回受診者数	1,560	2,268	2,989	3,707	5,835	10,757	14,049	7,734	5,313	54,212	27,116	41,165
青森県	受診歴不明	125	100	78	91	161	215	203	86	49	1,108	770	973
青森県	受診率	3.8%	3.5%	4.6%	5.4%	7.9%	12.4%	14.9%	6.7%	6.7%	7.6%	6.5%	7.9%

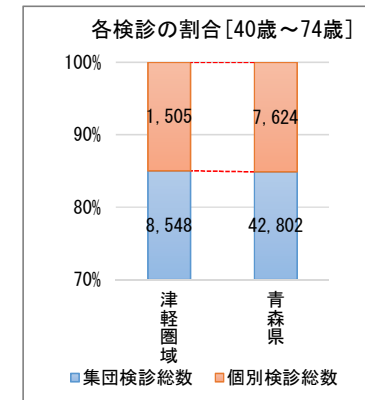
※受診者数はR2年度の受診者数である。

※初回受診者数と非初回受診者数の合計が受診者数と一致しない、または初回受診者数と非初回受診者数を計上していない市町村があるため、そのような場合は受診歴不明として計上している。

※対象者数から受診者数を除いた人数を未受診者数と定義しているが、実際は職場や人間ドック等でがん検診を受診している者が含まれている。

※初回受診者＝過去3年間に受診歴がない者

※非初回受診者＝過去3年間に受診歴がある者



個別事項「プロセス指標」（別紙4とは対象年度が異なる点に留意）

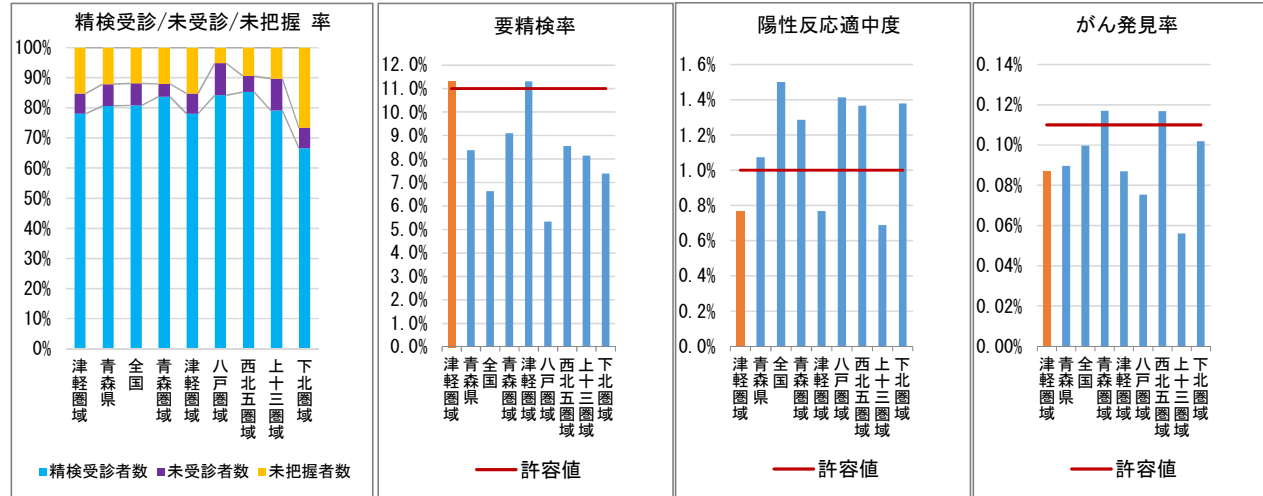
別紙4_参考2

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項
[令和5年3月17日付け青が生第1744号通知]

平成29～令和元年度 胃がん検診（胃部X線）プロセス指標－受診率を除く－

自治体名	津軽圏域
------	------

1. 胃がん検診（胃部X線）のプロセス指標（受診率を除く）



※許容値以下で極端な高低がないこと ※許容値以上で極端な高低がないこと ※許容値以上で極端な高低がないこと

<胃がん検診（胃部X線）のプロセス指標 [平成29～令和元年度 40歳～74歳 男女計] >

区分	津軽圏域	青森県	全国	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	許容値
受診者数	47,182	206,072	6,753,270	33,328	47,182	49,043	31,642	32,107	12,770	—
要精検者数	5,338	17,251	447,998	3,034	5,338	2,616	2,706	2,615	942	—
未把握者数	814	2,088	53,245	365	814	135	254	269	251	—
未受診者数	356	1,250	32,535	129	356	279	145	277	64	—
精検受診者数	4,168	13,913	362,218	2,540	4,168	2,202	2,307	2,069	627	—
がんであった者	41	185	6,726	39	41	37	37	18	13	—
要精検率	11.3%	8.4%	6.6%	9.1%	11.3%	5.3%	8.6%	8.1%	7.4%	11.0% 以下
精検受診率	78.1%	80.7%	80.9%	83.7%	78.1%	84.2%	85.3%	79.1%	66.6%	70% 以上
未受診率	6.7%	7.2%	7.3%	4.3%	6.7%	10.7%	5.4%	10.6%	6.8%	20% 以下
未把握率	15.2%	12.1%	11.9%	12.0%	15.2%	5.2%	9.4%	10.3%	26.6%	10% 以下
陽性反応適中度	0.8%	1.1%	1.5%	1.3%	0.8%	1.4%	1.4%	0.7%	1.4%	1.0% 以上
がん発見率	0.09%	0.09%	0.10%	0.12%	0.09%	0.08%	0.12%	0.06%	0.10%	0.11% 以上

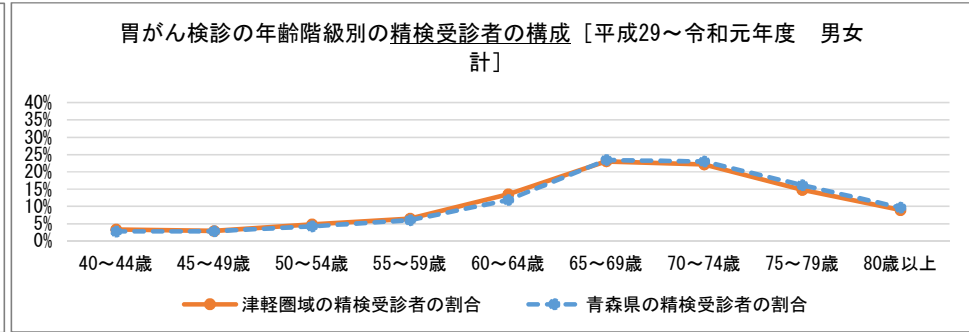
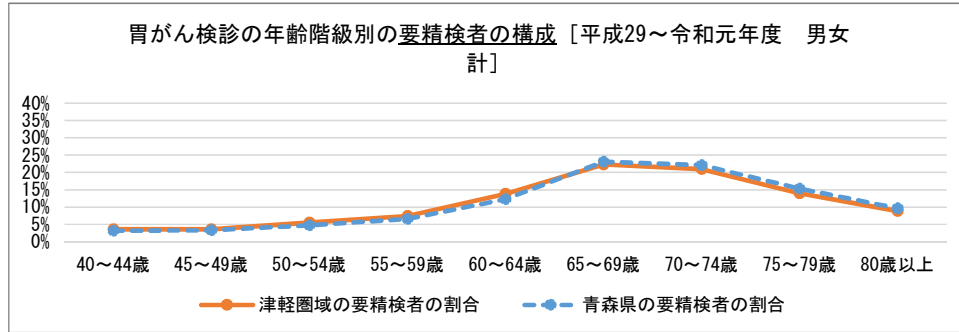
指標の意義・一般的な対策

精検受診率 未受診率 未把握率	<ul style="list-style-type: none"> 要精検者の精検受診状況を測る指標です。 精検受診率が低ければ、死亡率減少につながらないため、検診受診率よりも精検受診率向上が優先されます。また、100%に近くなければ、がん発見率等を適切に評価できません。 精検結果回収の仕組みを整備し、精検未受診・未把握を適切に分類して、精検受診勧奨に取り組むことで、精検受診率100%に向けて取り組む必要があります。
要精検率	<ul style="list-style-type: none"> 検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているかを測る指標です。対象集団に応じて適切な範囲があり、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 要精検率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。
陽性反応適中度	<ul style="list-style-type: none"> 検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 陽性反応適中度が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。
がん発見率	<ul style="list-style-type: none"> 検診において、適正な頻度でがんを発見できたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 がん発見率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。

[計算方法] ●要精検率=精検受診者数÷受診者数、●精検受診率=精検受診者数÷要精検者数、●未受診率=未受診者数÷要精検者数、●未把握率=未把握者数÷要精検者数、●陽性反応適中度=がんであった者÷要精検者数、●がん発見率=がんであった者÷受診者数

(出典：H30～R2年度地域保健・健康増進事業報告)

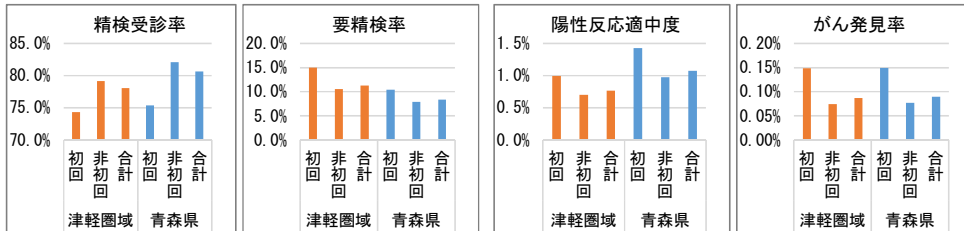
2. 胃がん検診（胃部X線）の年齢階級別・受診歴別・検診方式別のプロセス指標



<胃がん検診（胃部X線）の年齢階級別の要精検者数・精検受診者数・精検受診率 [平成29～令和元年度 男女計]>

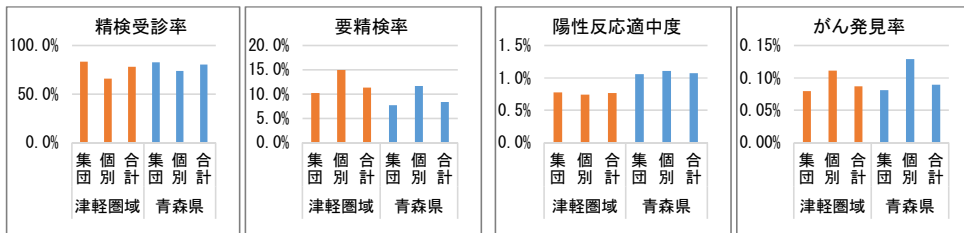
区分	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	40～74歳
津軽圏域 要精検者数	248	249	380	513	956	1,541	1,451	965	614	6,917	5,338
津軽圏域 精検受診者数	184	160	262	354	740	1,258	1,210	807	488	5,463	4,168
津軽圏域 精検受診率	74.2%	64.3%	68.9%	69.0%	77.4%	81.6%	83.4%	83.6%	79.5%	79.0%	78.1%
青森県 要精検者数	724	749	1,077	1,504	2,811	5,308	5,078	3,519	2,215	22,985	17,251
青森県 精検受診者数	522	531	803	1,131	2,227	4,393	4,306	3,024	1,818	18,755	13,913
青森県 精検受診率	72.1%	70.9%	74.6%	75.2%	79.2%	82.8%	84.8%	85.9%	82.1%	81.6%	80.7%

<胃がん検診（胃部X線）の受診歴別のプロセス指標 [平成29～令和元年度 40歳～74歳 男女計]>



区分	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
津軽圏域 初回	8,069	1,208	898	12	15.0%	74.3%	1.0%	0.15%
津軽圏域 非初回	39,089	4,128	3,268	29	10.6%	79.2%	0.7%	0.07%
津軽圏域 合計	47,182	5,338	4,168	41	11.3%	78.1%	0.8%	0.09%
青森県 初回	36,186	3,783	2,852	54	10.5%	75.4%	1.4%	0.15%
青森県 非初回	162,384	12,858	10,558	125	7.9%	82.1%	1.0%	0.08%
青森県 合計	206,072	17,251	13,913	185	8.4%	80.7%	1.1%	0.09%

<胃がん検診（胃部X線）の検診方式別のプロセス指標 [平成29～令和元年度 40歳～74歳 男女計]>



区分	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
津軽圏域 集団検診	36,406	3,724	3,106	29	10.2%	83.4%	0.8%	0.08%
津軽圏域 個別検診	10,776	1,614	1,062	12	15.0%	65.8%	0.7%	0.11%
津軽圏域 合計	47,182	5,338	4,168	41	11.3%	78.1%	0.8%	0.09%
青森県 集団検診	169,613	13,010	10,790	138	7.7%	82.9%	1.1%	0.08%
青森県 個別検診	36,459	4,241	3,123	47	11.6%	73.6%	1.1%	0.13%
青森県 合計	206,072	17,251	13,913	185	8.4%	80.7%	1.1%	0.09%

(出典：H30～R2年度地域保健・健康増進事業報告)

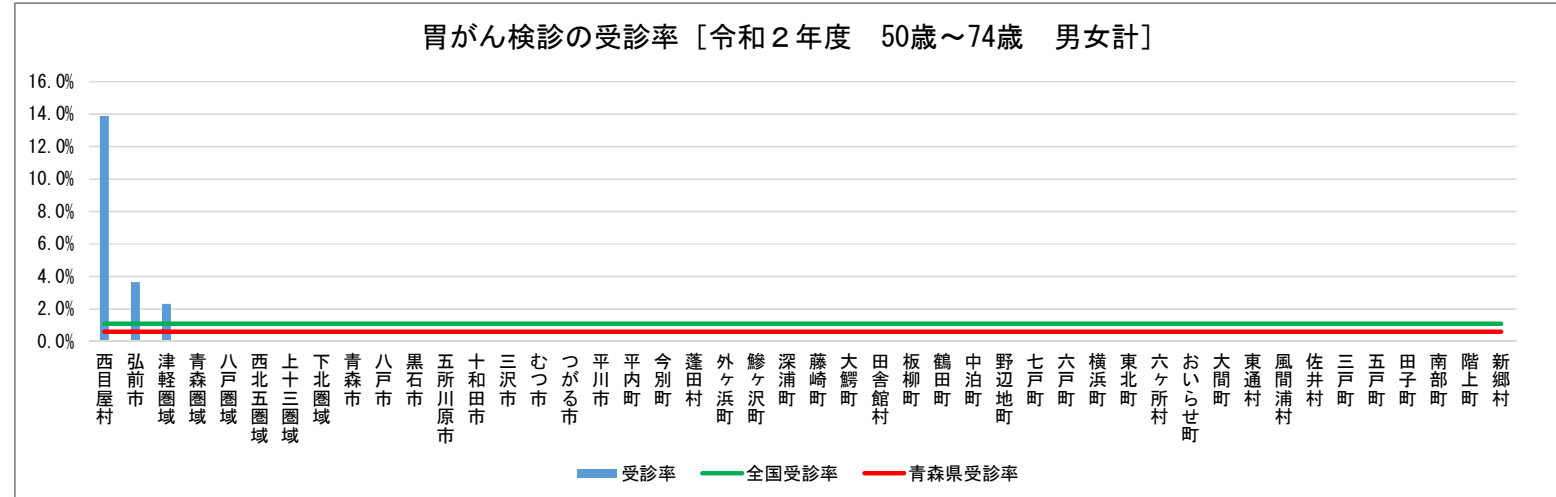
個別事項「プロセス指標」

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項
 [令和5年3月17日付け青が生第1744号通知]

令和2年度 胃がん検診（胃部内視鏡）プロセス指標－受診率－

自治体名	津軽圏域
------	------

1. 胃がん検診（胃部内視鏡）の受診率



指標の意義・一般的な対策

- ・受診率は、高い方が望ましい指標です。精度管理により検診の質を高めた上で、受診率を上げていく必要があります。
- ・性別・年齢階級別／検診機関別／検診歴別（初回・非初回別）の集計・分析は、課題を検討し、対策を講じるうえで必要となるため、台帳の電子システム化等により行えるようにすることが必要です。
- ・特定の年齢層の受診率が低い場合や、初回受診者が少ない場合、個別の受診勧奨・再勧奨の実施や、検診の提供体制（キャパシティ、利便性等）の改善について検討が必要です。

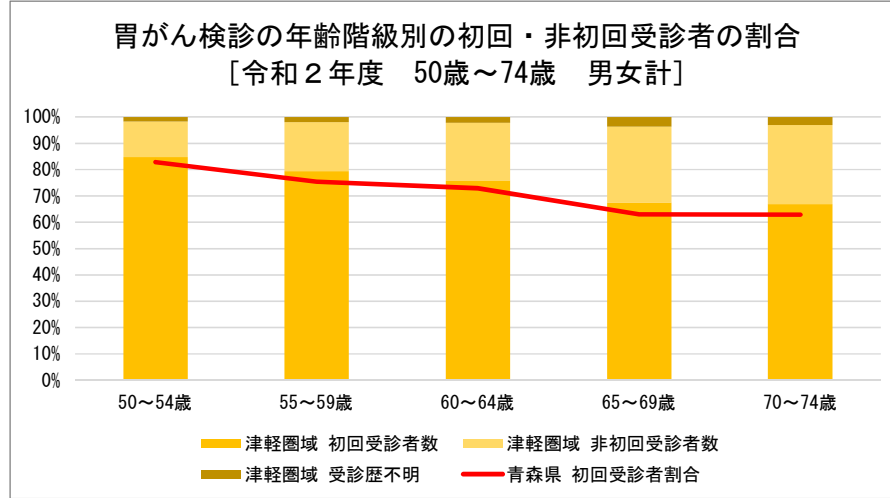
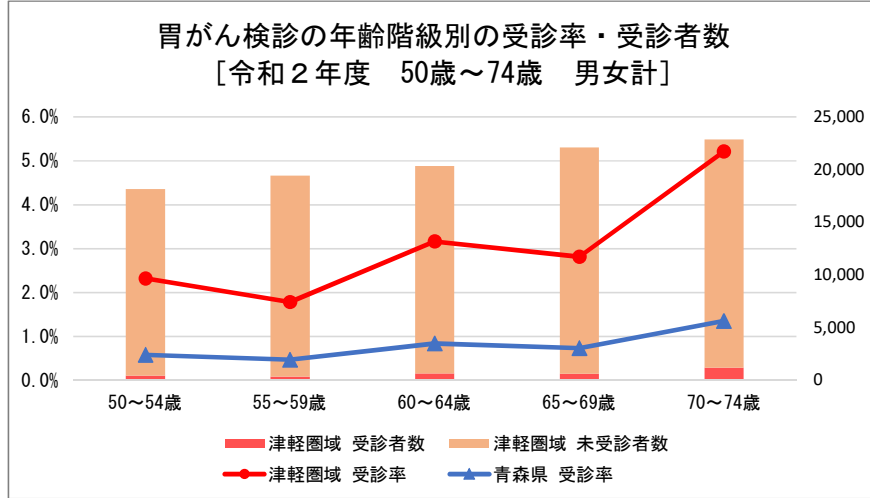
<胃がん検診（胃部内視鏡）の受診率 [令和2年度 50歳～74歳 男女計] >

区分	全国	青森県	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	青森市	弘前市	八戸市	黒石市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市
受診率	1.1%	0.6%	0.4%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
順位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2位	—	—	—	—	—	—	—	—
受診者数	656,607	3,846	587	3,225	0	31	0	3	587	3,059	0	0	0	0	0	0	0	0
対象者数	59,915,313	638,864	154,799	138,960	159,670	64,411	84,663	36,361	143,259	83,535	113,313	16,749	27,503	31,082	18,053	28,585	15,933	15,249
区分	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	鱒ヶ沢町	深浦町	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	鶴田町	中泊町	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町
受診率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	13.9%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
順位	—	—	—	—	—	—	1位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
受診者数	0	0	0	0	31	0	88	78	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
対象者数	5,789	1,297	1,399	3,055	4,985	4,100	634	7,357	4,844	3,804	6,788	6,333	5,557	6,734	7,872	5,333	2,169	8,614
区分	六ヶ所村	おいらせ町	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村						
受診率	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%						
順位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—						
受診者数	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
対象者数	4,806	12,492	2,664	3,105	983	1,024	4,994	8,725	2,733	9,092	7,140	1,181						

[受診率の計算方法について]
 受診者数÷対象者数=受診率
 ※他のプロセス指標に合わせ、75歳未満の受診率を計算しているため他の統計の受診率と異なる。
 ※2年連続受診者の算定が困難であるため、その者がいた場合、検診受診率に含まれている。

(出典：R2年度地域保健・健康増進事業報告) ※対象者数（分母）は対象年齢の全住民で、受診者数（分子）は市町村事業の受診者数であり、職域や人間ドックで受診している者は含まれていない。

2. 胃がん検診（胃部内視鏡）の受診者の状況

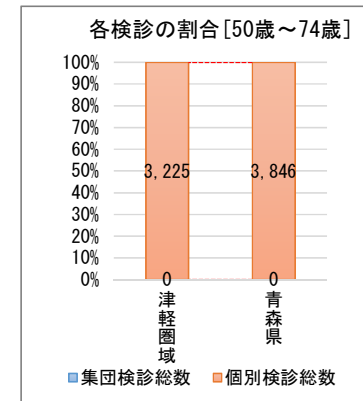


<胃がん検診（胃部内視鏡）の年齢階級別の受診者数・受診率 [令和2年度 男女計]>

区分	対象者数	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	50～69歳	50～74歳
津軽圏域 対象者数				18,150	19,421	20,332	22,124	22,876	47,258		150,161	80,027	102,903
津軽圏域 受診者数				421	346	643	622	1,193	483	610	4,318	2,032	3,225
津軽圏域 初回受診者数				357	275	488	420	798	322	429	3,089	1,540	2,338
津軽圏域 非初回受診者数				57	64	141	179	358	141	128	1,068	441	799
津軽圏域 受診歴不明				7	7	14	23	37	20	53	161	51	88
津軽圏域 受診率				2.3%	1.8%	3.2%	2.8%	5.2%	2.3%		2.9%	2.5%	3.1%
青森県 対象者数				85,009	86,462	92,185	102,879	105,881	214,884		687,300	366,535	472,416
青森県 受診者数				490	404	771	752	1,429	565	652	5,063	2,417	3,846
青森県 初回受診者数				406	305	562	474	899	362	453	3,461	1,747	2,646
青森県 非初回受診者数				77	91	195	254	492	182	146	1,437	617	1,109
青森県 受診歴不明				7	8	14	24	38	21	53	165	53	91
青森県 受診率				0.6%	0.5%	0.8%	0.7%	1.3%	0.6%		0.7%	0.7%	0.8%

※初回受診者＝過去3年間に受診歴がない者

※非初回受診者＝過去3年間に受診歴がある者



※受診者数はR2年度の受診者数である。

※初回受診者数と非初回受診者数の合計が受診者数と一致しない、または初回受診者数と非初回受診者数を計上していない市町村があるため、そのような場合は受診歴不明として計上している。

※対象者数から受診者数を除いた人数を未受診者数と定義しているが、実際は職場や人間ドック等でがん検診を受診している者が含まれている。

個別事項「プロセス指標」（別紙5とは対象年度が異なる点に留意）

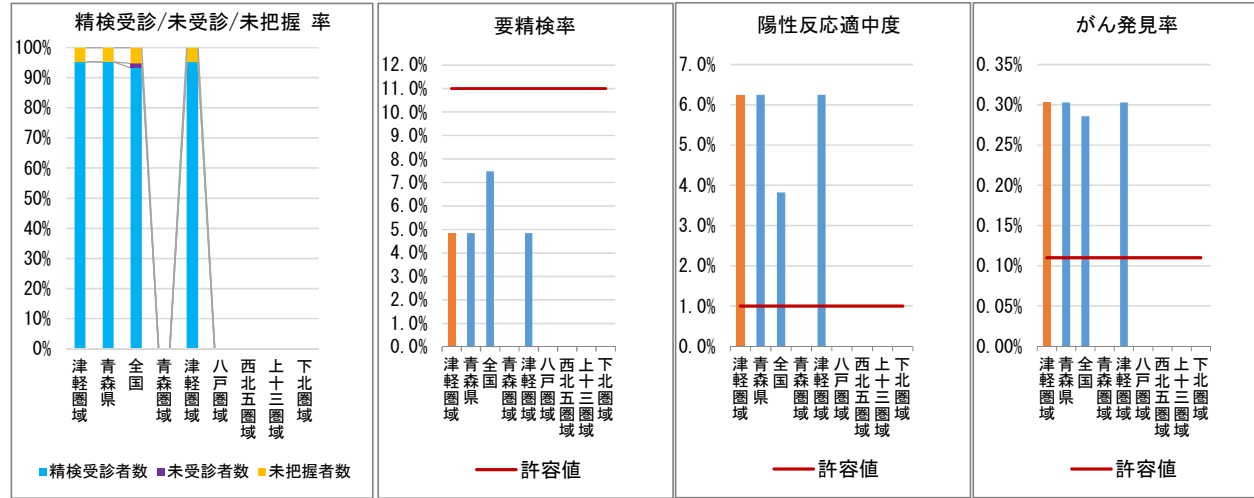
別紙5_参考2

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項
[令和5年3月17日付け青が生第1744号通知]

平成29～令和元年度 胃がん検診（胃部内視鏡）プロセス指標－受診率を除く－

自治体名	津軽圏域
------	------

1. 胃がん検診（胃部内視鏡）のプロセス指標（受診率を除く）



※許容値以下で極端な高低がないこと ※許容値以上で極端な高低がないこと ※許容値以上で極端な高低がないこと

<胃がん検診（胃部内視鏡）のプロセス指標 [平成29～令和元年度 50歳～74歳 男女計]>

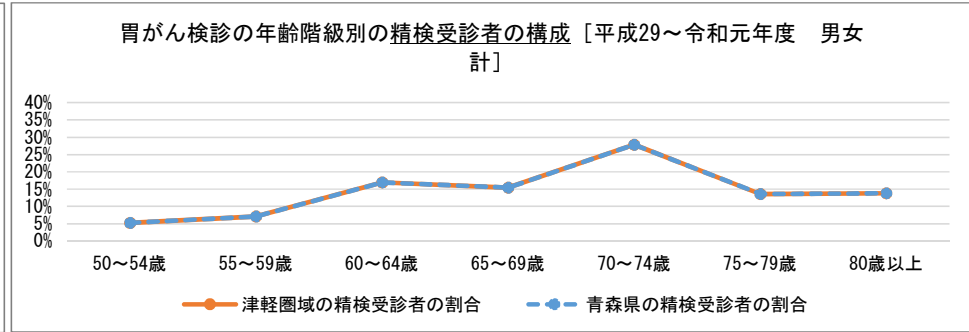
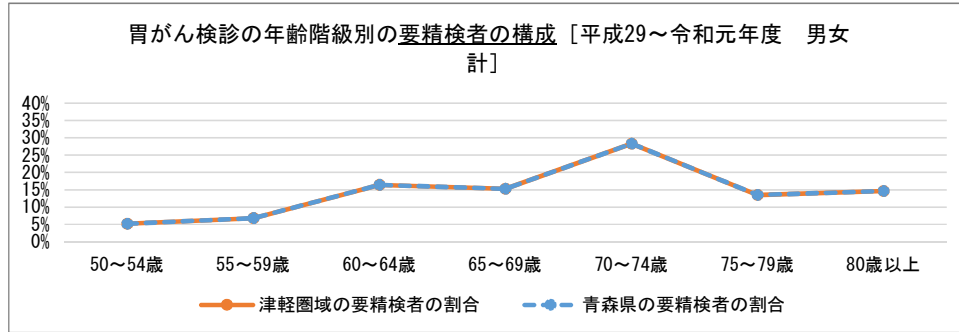
区分	津軽圏域	青森県	全国	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	許容値
受診者数	6,602	6,602	1,505,821	0	6,602	0	0	0	0	—
要精検者数	320	320	112,480	0	320	0	0	0	0	—
未把握者数	15	15	5,744	0	15	0	0	0	0	—
未受診者数	0	0	1,669	0	0	0	0	0	0	—
精検受診者数	305	305	102,542	0	305	0	0	0	0	—
がんであった者	20	20	4,304	0	20	0	0	0	0	—
要精検率	4.8%	4.8%	7.5%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.0% 以下
精検受診率	95.3%	95.3%	91.2%	0.0%	95.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	70% 以上
未受診率	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20% 以下
未把握率	4.7%	4.7%	5.1%	0.0%	4.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10% 以下
陽性反応適中度	6.3%	6.3%	3.8%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0% 以上
がん発見率	0.30%	0.30%	0.29%	0.00%	0.30%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.11% 以上

指標の意義・一般的な対策	
精検受診率 未受診率 未把握率	<ul style="list-style-type: none"> 要精検者の精検受診状況を測る指標です。 精検受診率が低ければ、死亡率減少につながらないため、検診受診率よりも精検受診率向上が優先されます。また、100%に近くなければ、がん発見率等を適切に評価できません。 精検結果回収の仕組みを整備し、精検未受診・未把握を適切に分類して、精検受診勧奨に取り組むことで、精検受診率100%に向けて取り組む必要があります。
要精検率	<ul style="list-style-type: none"> 検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているかを測る指標です。対象集団に応じて適切な範囲があり、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 要精検率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。
陽性反応適中度	<ul style="list-style-type: none"> 検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 陽性反応適中度が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。
がん発見率	<ul style="list-style-type: none"> 検診において、適正な頻度でがんを発見できたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 がん発見率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。

[計算方法] ●要精検率=精検受診者数÷受診者数、●精検受診率=精検受診者数÷要精検者数、●未受診率=未受診者数÷要精検者数、●未把握率=未把握者数÷要精検者数、●陽性反応適中度=がんであった者÷要精検者数、●がん発見率=がんであった者÷受診者数

(出典：H30～R2年度地域保健・健康増進事業報告)

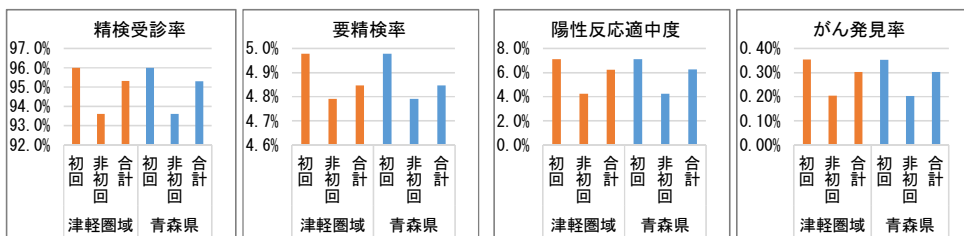
2. 胃がん検診（胃部内視鏡）の年齢階級別・受診歴別・検診方式別のプロセス指標



<胃がん検診（胃部内視鏡）の年齢階級別の要精検者数・精検受診者数・精検受診率 [平成29～令和元年度 男女計]>

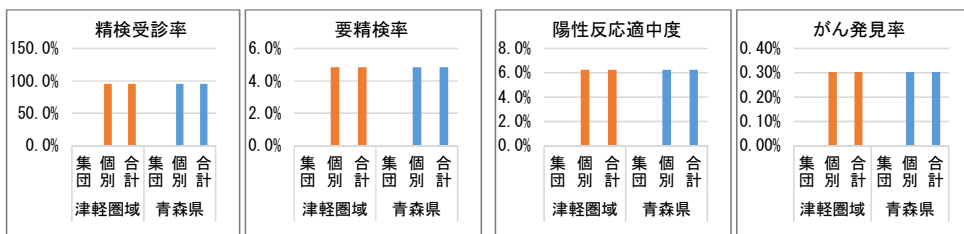
区分	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	50～74歳
津軽圏域 要精検者数			23	30	73	68	126	60	65	445	320
津軽圏域 精検受診者数			22	30	71	65	117	57	58	420	305
津軽圏域 精検受診率			95.7%	100.0%	97.3%	95.6%	92.9%	95.0%	89.2%	94.4%	95.3%
青森県 要精検者数			23	30	73	68	126	60	65	445	320
青森県 精検受診者数			22	30	71	65	117	57	58	420	305
青森県 精検受診率			95.7%	100.0%	97.3%	95.6%	92.9%	95.0%	89.2%	94.4%	95.3%

<胃がん検診（胃部内視鏡）の受診歴別のプロセス指標 [平成29～令和元年度 50歳～74歳 男女計]>



区分	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
津軽圏域 初回	4,520	225	216	16	5.0%	96.0%	7.1%	0.35%
津軽圏域 非初回	1,962	94	88	4	4.8%	93.6%	4.3%	0.20%
津軽圏域 合計	6,602	320	305	20	4.8%	95.3%	6.3%	0.30%
青森県 初回	4,520	225	216	16	5.0%	96.0%	7.1%	0.35%
青森県 非初回	1,962	94	88	4	4.8%	93.6%	4.3%	0.20%
青森県 合計	6,602	320	305	20	4.8%	95.3%	6.3%	0.30%

<胃がん検診（胃部内視鏡）の検診方式別のプロセス指標 [平成29～令和元年度 50歳～74歳 男女計]>



区分	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
津軽圏域 集団検診	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.00%
津軽圏域 個別検診	6,602	320	305	20	4.8%	95.3%	6.3%	0.30%
津軽圏域 合計	6,602	320	305	20	4.8%	95.3%	6.3%	0.30%
青森県 集団検診	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.00%
青森県 個別検診	6,602	320	305	20	4.8%	95.3%	6.3%	0.30%
青森県 合計	6,602	320	305	20	4.8%	95.3%	6.3%	0.30%

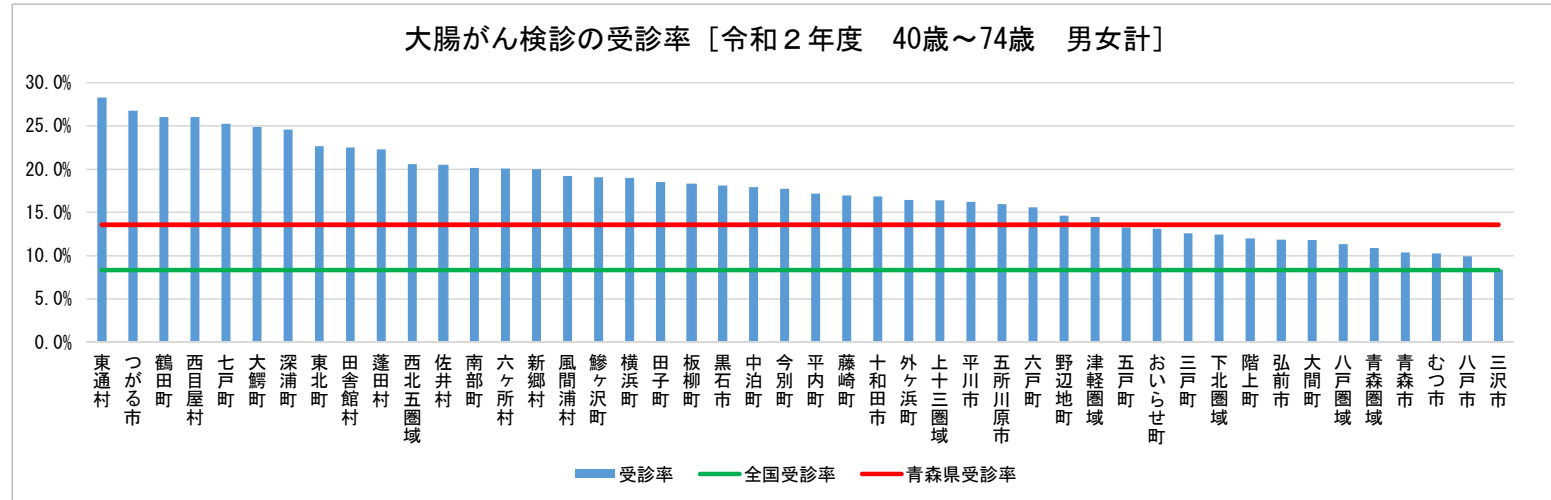
(出典：H30～R2年度地域保健・健康増進事業報告)

個別事項「プロセス指標」

令和2年度 大腸がん検診プロセス指標 - 受診率 -

自治体名	津軽圏域
------	------

1. 大腸がん検診の受診率



指標の意義・一般的な対策

- ・受診率は、高い方が望ましい指標です。精度管理により検診の質を高めた上で、受診率を上げていく必要があります。
- ・性別・年齢階級別／検診機関別／検診歴別（初回・非初回別）の集計・分析は、課題を検討し、対策を講じるうえで必要となるため、台帳の電子システム化等により行えるようにすることが必要です。
- ・特定の年齢層の受診率が低い場合や、初回受診者が少ない場合、個別の受診勧奨・再勧奨の実施や、検診の提供体制（キャパシティ、利便性等）の改善について検討が必要です。

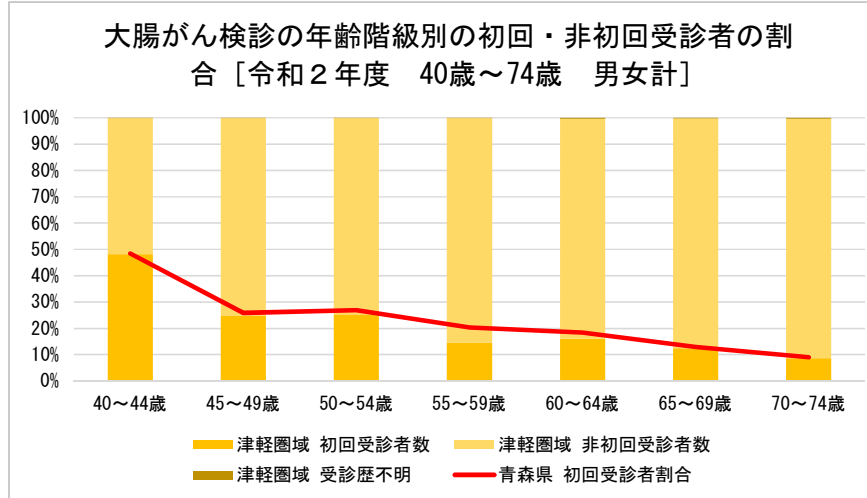
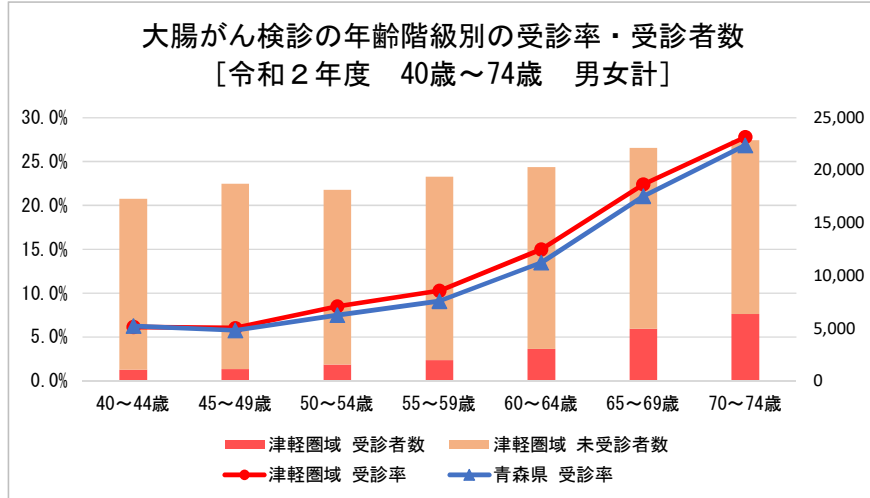
<大腸がん検診の受診率 [令和2年度 40歳～74歳 男女計] >

区分	全国	青森県	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	青森市	弘前市	八戸市	黒石市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市
受診率	8.4%	13.6%	10.9%	14.5%	11.3%	20.6%	16.4%	12.4%	10.4%	11.8%	9.9%	18.1%	16.0%	16.9%	8.4%	10.3%	26.8%	16.2%
順位	—	—	—	—	—	—	—	—	37位	35位	39位	20位	28位	25位	40位	38位	2位	27位
受診者数	5,009,523	86,794	16,894	20,115	18,109	13,262	13,892	4,522	14,860	9,893	11,254	3,034	4,391	5,242	1,515	2,931	4,267	2,476
対象者数	59,959,339	638,844	154,779	138,960	159,670	64,411	84,663	36,361	143,259	83,535	113,313	16,749	27,503	31,082	18,053	28,585	15,933	15,249
区分	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	鱒ヶ沢町	深浦町	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	鶴田町	中泊町	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町
受診率	17.2%	17.7%	22.3%	16.4%	19.1%	24.6%	26.0%	17.0%	24.9%	22.5%	18.2%	26.0%	17.9%	14.6%	25.3%	15.6%	19.0%	22.7%
順位	23位	22位	10位	26位	16位	7位	4位	24位	6位	9位	19位	3位	21位	30位	5位	29位	17位	8位
受診者数	995	230	307	502	951	1,008	165	1,248	1,205	856	1,238	1,649	996	985	1,989	831	412	1,953
対象者数	5,789	1,297	1,379	3,055	4,985	4,100	634	7,357	4,844	3,804	6,788	6,333	5,557	6,734	7,872	5,333	2,169	8,614
区分	六ヶ所村	おいらせ町	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村						
受診率	20.1%	13.1%	11.8%	28.3%	19.2%	20.4%	12.6%	13.2%	18.5%	20.1%	12.0%	20.0%						
順位	13位	32位	36位	1位	15位	11位	33位	31位	18位	12位	34位	14位						
受診者数	965	1,639	315	878	189	209	630	1,156	506	1,830	858	236						
対象者数	4,806	12,492	2,664	3,105	983	1,024	4,994	8,725	2,733	9,092	7,140	1,181						

[受診率の計算方法について]
受診者数÷対象者数=受診率
※他のプロセス指標に合わせ、75歳未満の受診率を計算しているため他の統計の受診率と異なる。

(出典：R2年度地域保健・健康増進事業報告) ※対象者数(分母)は対象年齢の全住民で、受診者数(分子)は市町村事業の受診者数であり、職域や人間ドックで受診している者は含まれていない。

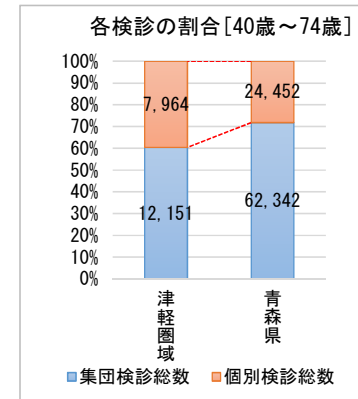
2. 大腸がん検診の受診者の状況



<大腸がん検診の年齢階級別の受診者数・受診率 [令和2年度 男女計] >

区分		40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	40～69歳	40～74歳
津軽圏域	対象者数	17,316	18,741	18,150	19,421	20,332	22,124	22,876	47,258		186,218	116,084	138,960
津軽圏域	受診者数	1,067	1,134	1,544	1,999	3,050	4,960	6,361	4,011	3,721	27,847	13,754	20,115
津軽圏域	初回受診者数	515	280	391	290	492	613	551	375	330	3,837	2,581	3,132
津軽圏域	非初回受診者数	551	853	1,151	1,706	2,549	4,333	5,788	3,623	3,369	23,923	11,143	16,931
津軽圏域	受診歴不明	1	1	2	3	9	14	22	13	22	87	30	52
津軽圏域	受診率	6.2%	6.1%	8.5%	10.3%	15.0%	22.4%	27.8%	16.4%		15.0%	11.8%	14.5%
青森県	対象者数	78,249	88,199	85,009	86,462	92,185	102,859	105,881	214,974		853,818	532,963	638,844
青森県	受診者数	4,902	5,089	6,370	7,878	12,444	21,665	28,446	17,319	15,331	119,444	58,348	86,794
青森県	初回受診者数	2,374	1,315	1,715	1,604	2,282	2,806	2,558	1,470	1,310	17,434	12,096	14,654
青森県	非初回受診者数	2,393	3,666	4,555	6,163	9,963	18,564	25,576	15,709	13,924	100,513	45,304	70,880
青森県	受診歴不明	135	108	100	111	199	295	312	140	97	1,497	948	1,260
青森県	受診率	6.3%	5.8%	7.5%	9.1%	13.5%	21.1%	26.9%	15.2%		14.0%	10.9%	13.6%

※初回受診者＝過去3年間に受診歴がない者
 ※非初回受診者＝過去3年間に受診歴がある者



※受診者数はR2年度の受診者数である。

※初回受診者数と非初回受診者数の合計が受診者数と一致しない、または初回受診者数と非初回受診者数を計上していない市町村があるため、そのような場合は受診歴不明として計上している。

※対象者数から受診者数を除いた人数を未受診者数と定義しているが、実際は職場や人間ドック等でがん検診を受診している者が含まれている。

※50歳代は大腸がん検診モデル事業の影響により県平均の受診率や初回受診者割合が通常よりも高い。

(出典：R2年度地域保健・健康増進事業報告)

個別事項「プロセス指標」 (別紙6とは対象年度が異なる点に留意)

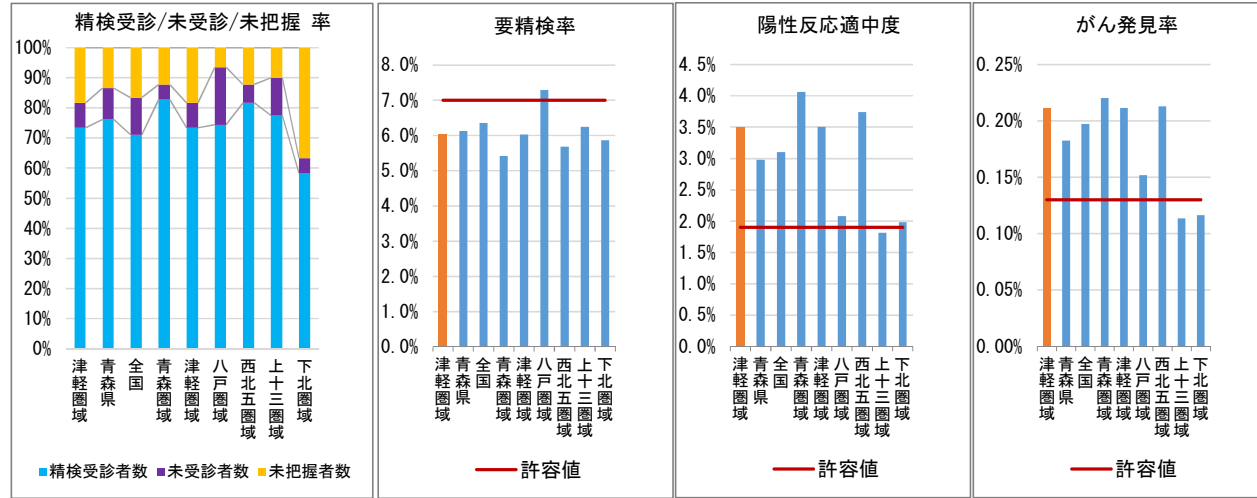
別紙6_参考2

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項
[令和5年3月17日付け青が生第1744号通知]

平成29～令和元年度 大腸がん検診プロセス指標 - 受診率を除く -

自治体名	津軽圏域
------	------

1. 大腸がん検診のプロセス指標 (受診率を除く)



※許容値以下で極端な高低がないこと ※許容値以上で極端な高低がないこと ※許容値以上で極端な高低がないこと

<大腸がん検診のプロセス指標 [平成29～令和元年度 40歳～74歳 男女計]>

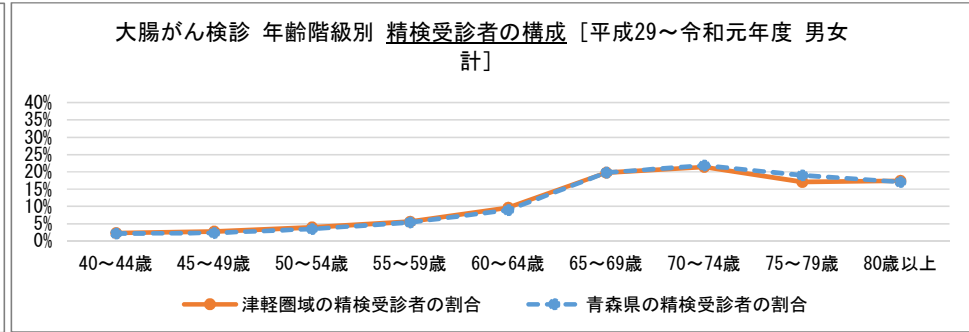
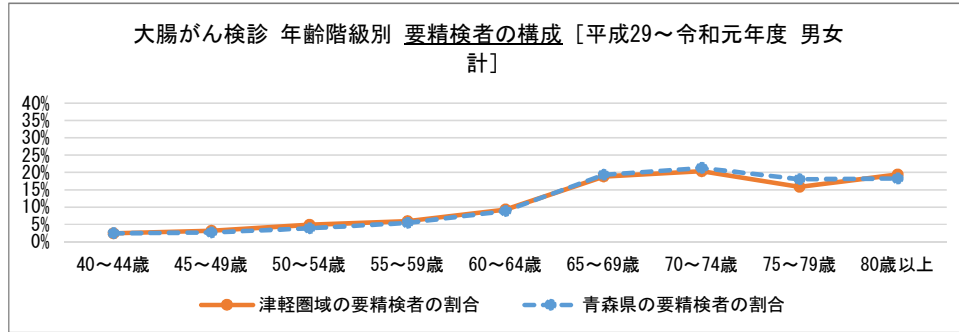
区分	津軽圏域	青森県	全国	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	許容値
受診者数	78,558	307,454	17,702,541	63,075	78,558	61,246	44,164	43,221	17,190	—
要精検者数	4,735	18,845	1,125,670	3,422	4,735	4,467	2,512	2,700	1,009	—
未把握者数	869	2,525	187,427	419	869	291	307	269	370	—
未受診者数	391	1,962	138,166	173	391	854	154	339	51	—
精検受診者数	3,475	14,358	800,077	2,830	3,475	3,322	2,051	2,092	588	—
がんであった者	166	561	34,953	139	166	93	94	49	20	—
要精検率	6.0%	6.1%	6.4%	5.4%	6.0%	7.3%	5.7%	6.2%	5.9%	7.0% 以下
精検受診率	73.4%	76.2%	71.1%	82.7%	73.4%	74.4%	81.6%	77.5%	58.3%	70% 以上
未受診率	8.3%	10.4%	12.3%	5.1%	8.3%	19.1%	6.1%	12.6%	5.1%	20% 以下
未把握率	18.4%	13.4%	16.7%	12.2%	18.4%	6.5%	12.2%	10.0%	36.7%	10% 以下
陽性反応適中度	3.5%	3.0%	3.1%	4.1%	3.5%	2.1%	3.7%	1.8%	2.0%	1.9% 以上
がん発見率	0.21%	0.18%	0.20%	0.22%	0.21%	0.15%	0.21%	0.11%	0.12%	0.13% 以上

指標の意義・一般的な対策	
精検受診率 未受診率 未把握率	<ul style="list-style-type: none"> 要精検者の精検受診状況を測る指標です。 精検受診率が低ければ、死亡率減少につながらないため、検診受診率よりも精検受診率向上が優先されます。また、100%に近くなければ、がん発見率等を適切に評価できません。 精検結果回収の仕組みを整備し、精検未受診・未把握を適切に分類して、精検受診勧奨に取り組むことで、精検受診率100%に向けて取り組む必要があります。
要精検率	<ul style="list-style-type: none"> 検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているかを測る指標です。対象集団に応じて適切な範囲があり、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 要精検率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。
陽性反応適中度	<ul style="list-style-type: none"> 検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 陽性反応適中度が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。
がん発見率	<ul style="list-style-type: none"> 検診において、適正な頻度でがんを発見できたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 がん発見率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。

[計算方法] ●要精検率=精検受診者数÷受診者数、●精検受診率=精検受診者数÷要精検者数、●未受診率=未受診者数÷要精検者数、●未把握率=未把握者数÷要精検者数、●陽性反応適中度=がんであった者÷要精検者数、●がん発見率=がんであった者÷受診者数

(出典：H30～R2年度地域保健・健康増進事業報告)

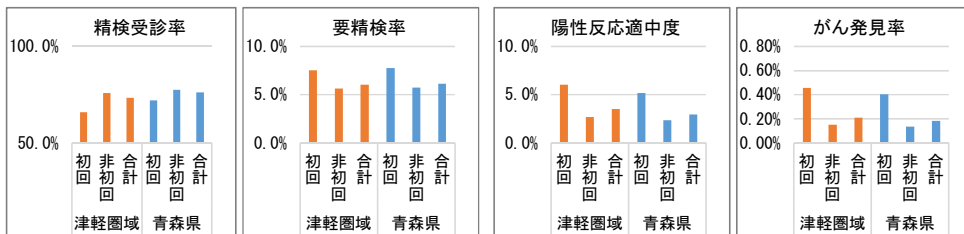
2. 大腸がん検診の年齢階級別・受診歴別・検診方式別のプロセス指標



<大腸がん検診の年齢階級別の要精検者数・精検受診者数・精検受診率 [平成29～令和元年度 男女計] >

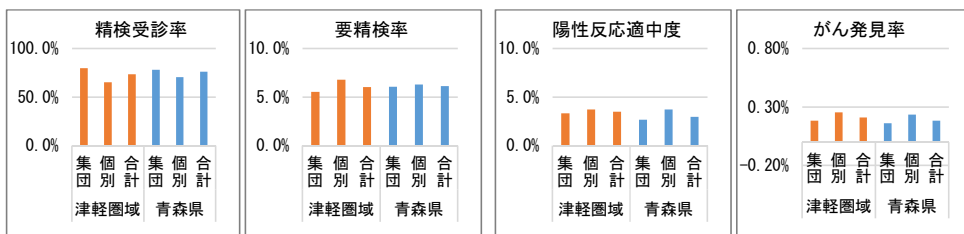
区分		40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	40～74歳
津軽圏域	要精検者数	175	229	355	432	679	1,378	1,487	1,159	1,419	7,313	4,735
津軽圏域	精検受診者数	123	145	212	296	512	1,051	1,136	906	925	5,306	3,475
津軽圏域	精検受診率	70.3%	63.3%	59.7%	68.5%	75.4%	76.3%	76.4%	78.2%	65.2%	72.6%	73.4%
青森県	要精検者数	712	784	1,136	1,609	2,614	5,701	6,289	5,326	5,384	29,555	18,845
青森県	精検受診者数	487	531	774	1,210	2,014	4,436	4,906	4,260	3,838	22,456	14,358
青森県	精検受診率	68.4%	67.7%	68.1%	75.2%	77.0%	77.8%	78.0%	80.0%	71.3%	76.0%	76.2%

<大腸がん検診の受診歴別のプロセス指標 [平成29～令和元年度 40歳～74歳 男女計] >



区分	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
津軽圏域 初回	15,572	1,174	774	71	7.5%	65.9%	6.0%	0.46%
津軽圏域 非初回	62,792	3,549	2,691	95	5.7%	75.8%	2.7%	0.15%
津軽圏域 合計	78,558	4,735	3,475	166	6.0%	73.4%	3.5%	0.21%
青森県 初回	56,789	4,405	3,180	229	7.8%	72.2%	5.2%	0.40%
青森県 非初回	241,570	13,901	10,785	328	5.8%	77.6%	2.4%	0.14%
青森県 合計	307,454	18,845	14,358	561	6.1%	76.2%	3.0%	0.18%

<大腸がん検診の検診方式別のプロセス指標 [平成29～令和元年度 40歳～74歳 男女計] >



区分	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
津軽圏域 集団検診	47,793	2,643	2,107	88	5.5%	79.7%	3.3%	0.18%
津軽圏域 個別検診	30,765	2,092	1,368	78	6.8%	65.4%	3.7%	0.25%
津軽圏域 合計	78,558	4,735	3,475	166	6.0%	73.4%	3.5%	0.21%
青森県 集団検診	224,081	13,592	10,638	365	6.1%	78.3%	2.7%	0.16%
青森県 個別検診	83,373	5,253	3,720	196	6.3%	70.8%	3.7%	0.24%
青森県 合計	307,454	18,845	14,358	561	6.1%	76.2%	3.0%	0.18%

(出典：H30～R2年度地域保健・健康増進事業報告)

個別事項「プロセス指標」

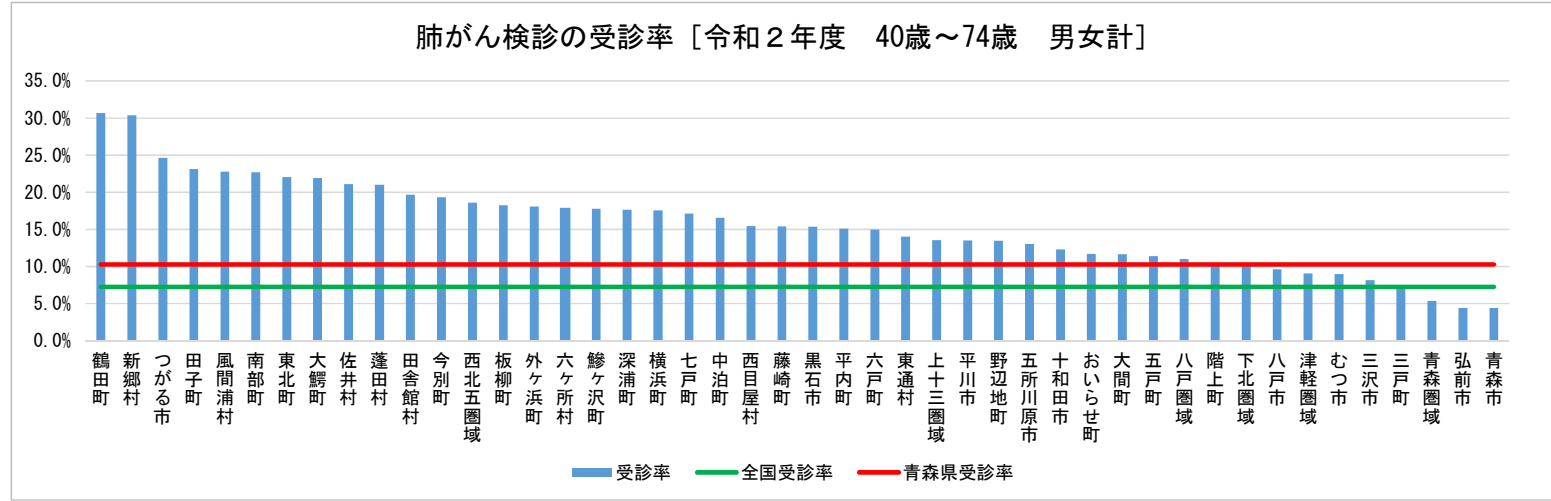
別紙7_参考1

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項
[令和5年3月17日付け青が生第1744号通知]

令和2年度 肺がん検診プロセス指標 - 受診率 -

自治体名	津軽圏域
------	------

1. 肺がん検診の受診率



指標の意義・一般的な対策

- ・受診率は、高い方が望ましい指標です。精度管理により検診の質を高めた上で、受診率を上げていく必要があります。
- ・性別・年齢階級別/検診機関別/検診歴別(初回・非初回別)の集計・分析は、課題を検討し、対策を講じるうえで必要となるため、台帳の電子システム化等により行えるようにすることが必要です。
- ・特定の年齢層の受診率が低い場合や、初回受診者が少ない場合、個別の受診勧奨・再勧奨の実施や、検診の提供体制(キャパシティ、利便性等)の改善について検討が必要です。

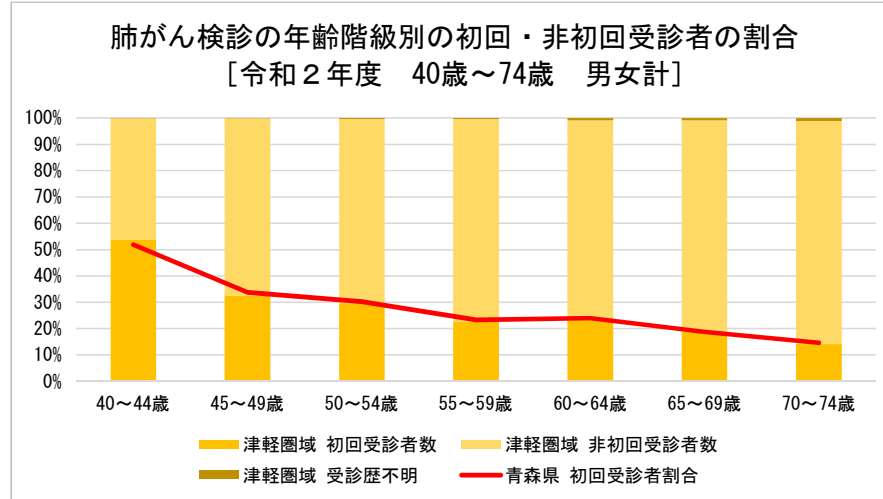
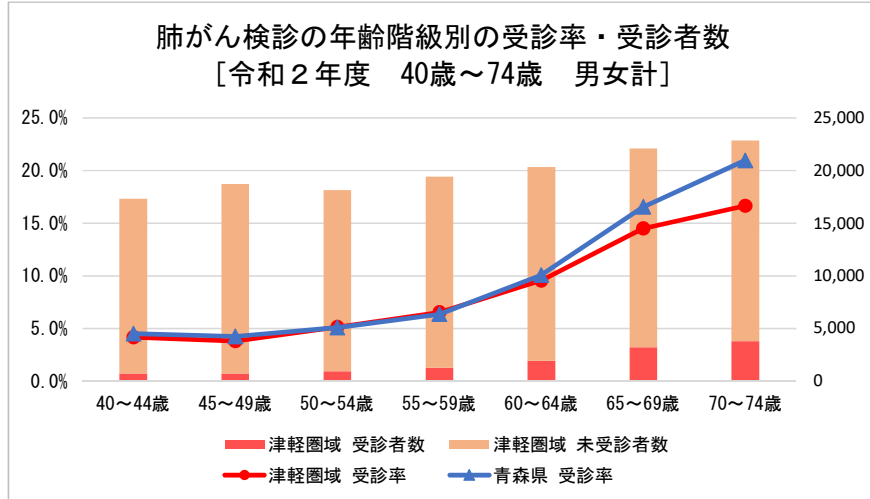
<肺がん検診の受診率 [令和2年度 40歳～74歳 男女計] >

区分	全国	青森県	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	青森市	弘前市	八戸市	黒石市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市
受診率	7.3%	10.3%	5.4%	9.1%	11.0%	18.6%	13.6%	10.3%	4.4%	4.4%	9.6%	15.4%	13.0%	12.3%	8.2%	8.9%	24.7%	13.5%
順位	—	—	—	—	—	—	—	—	40位	39位	35位	23位	29位	30位	37位	36位	3位	27位
受診者数	4,351,918	65,657	8,288	12,610	17,549	11,986	11,480	3,744	6,320	3,690	10,926	2,576	3,582	3,816	1,474	2,557	3,928	2,062
対象者数	59,941,418	638,844	154,779	138,960	159,670	64,411	84,663	36,361	143,259	83,535	113,313	16,749	27,503	31,082	18,053	28,585	15,933	15,249
区分	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	鯺ヶ沢町	深浦町	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	鶴田町	中泊町	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町
受診率	15.1%	19.4%	21.0%	18.1%	17.8%	17.7%	15.5%	15.4%	21.9%	19.7%	18.3%	30.7%	16.6%	13.5%	17.1%	15.0%	17.6%	22.1%
順位	24位	12位	10位	14位	16位	17位	21位	22位	8位	11位	13位	1位	20位	28位	19位	25位	18位	7位
受診者数	875	251	290	552	887	724	98	1,134	1,062	748	1,240	1,944	921	907	1,347	799	381	1,900
対象者数	5,789	1,297	1,379	3,055	4,985	4,100	634	7,357	4,844	3,804	6,788	6,333	5,557	6,734	7,872	5,333	2,169	8,614
区分	六ヶ所村	おいらせ町	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村						
受診率	17.8%	11.7%	11.7%	14.0%	22.8%	21.1%	7.3%	11.4%	23.1%	22.7%	10.5%	30.4%						
順位	15位	31位	32位	26位	5位	9位	38位	33位	4位	6位	34位	2位						
受診者数	856	1,463	311	436	224	216	366	994	632	2,062	747	359						
対象者数	4,806	12,492	2,664	3,105	983	1,024	4,994	8,725	2,733	9,092	7,140	1,181						

[受診率の計算方法について]
受診者数÷対象者数=受診率
※他のプロセス指標に合わせ、75歳未満の受診率を計算しているため他の統計の受診率と異なる。

(出典：R2年度地域保健・健康増進事業報告) ※対象者数(分母)は対象年齢の全住民で、受診者数(分子)は市町村事業の受診者数であり、職域や人間ドックで受診している者は含まれていない。

2. 肺がん検診の受診者の状況



<肺がん検診の年齢階級別の受診者数・受診率 [令和2年度 男女計]>

区分		40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	40～69歳	40～74歳
津軽圏域	対象者数	17,316	18,741	18,150	19,421	20,332	22,124	22,876	47,258		186,218	116,084	138,960
津軽圏域	受診者数	724	714	933	1,271	1,946	3,210	3,812	2,119	1,700	16,429	8,798	12,610
津軽圏域	初回受診者数	390	233	277	286	472	603	536	296	267	3,360	2,261	2,797
津軽圏域	非初回受診者数	333	480	652	980	1,457	2,579	3,234	1,794	1,361	12,870	6,481	9,715
津軽圏域	受診歴不明	1	1	4	5	17	28	42	29	72	199	56	98
津軽圏域	受診率	4.2%	3.8%	5.1%	6.5%	9.6%	14.5%	16.7%	8.1%		8.8%	7.6%	9.1%
青森県	対象者数	78,249	88,199	85,009	86,462	92,185	102,859	105,881	214,884		853,728	532,963	638,844
青森県	受診者数	3,529	3,751	4,324	5,502	9,291	17,045	22,215	12,416	10,072	88,145	43,442	65,657
青森県	初回受診者数	1,830	1,267	1,307	1,279	2,228	3,189	3,240	1,707	1,496	17,543	11,100	14,340
青森県	非初回受診者数	1,574	2,390	2,934	4,121	6,869	13,567	18,658	10,561	8,432	69,106	31,455	50,113
青森県	受診歴不明	125	94	83	102	194	289	317	148	144	1,496	887	1,204
青森県	受診率	4.5%	4.3%	5.1%	6.4%	10.1%	16.6%	21.0%	10.5%		10.3%	8.2%	10.3%

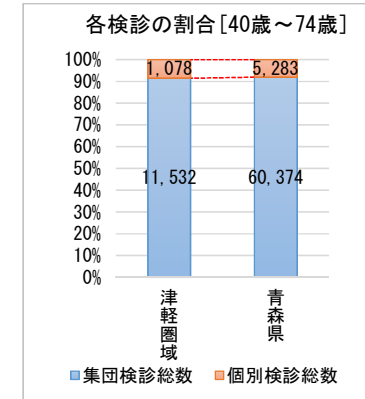
※受診者数はR2年度の受診者数である。

※初回受診者数と非初回受診者数の合計が受診者数と一致しない、または初回受診者数と非初回受診者数を計上していない市町村があるため、そのような場合は受診歴不明として計上している。

※対象者数から受診者数を除いた人数を未受診者数と定義しているが、実際は職場や人間ドック等でがん検診を受診している者が含まれている。

※初回受診者＝前年に受診歴がない者

※非初回受診者＝前年に受診歴がある者



個別事項「プロセス指標」 (別紙7とは対象年度が異なる点に留意)

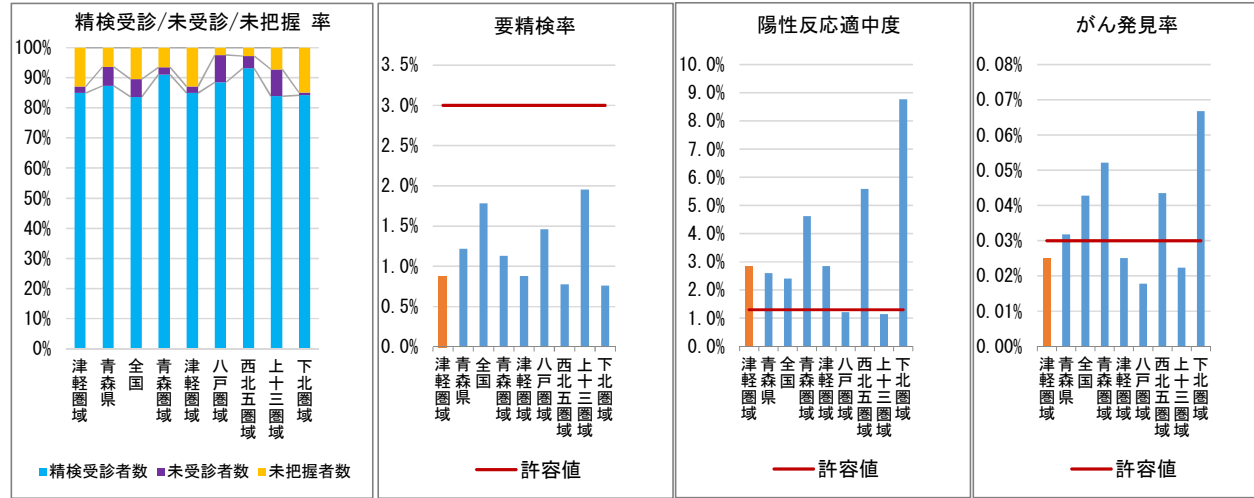
別紙7_参考2

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項
[令和5年3月17日付け青が生第1744号通知]

平成29～令和元年度 肺がん検診プロセス指標 - 受診率を除く -

自治体名	津軽圏域
------	------

1. 肺がん検診のプロセス指標 (受診率を除く)



※許容値以下で極端な高低がないこと ※許容値以上で極端な高低がないこと ※許容値以上で極端な高低がないこと

<肺がん検診のプロセス指標 [平成29～令和元年度 40歳～74歳 男女計]>

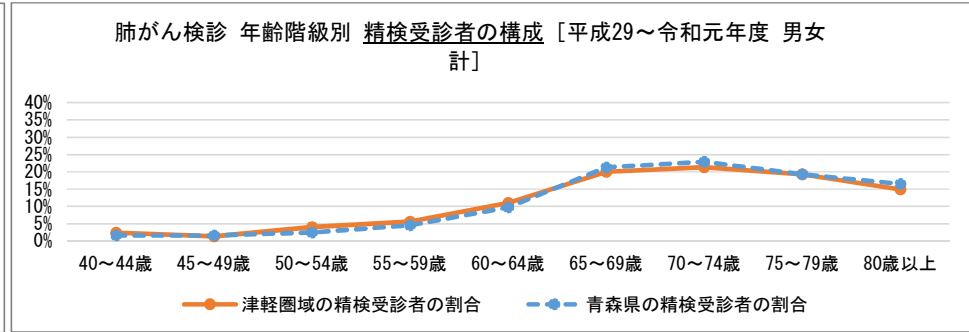
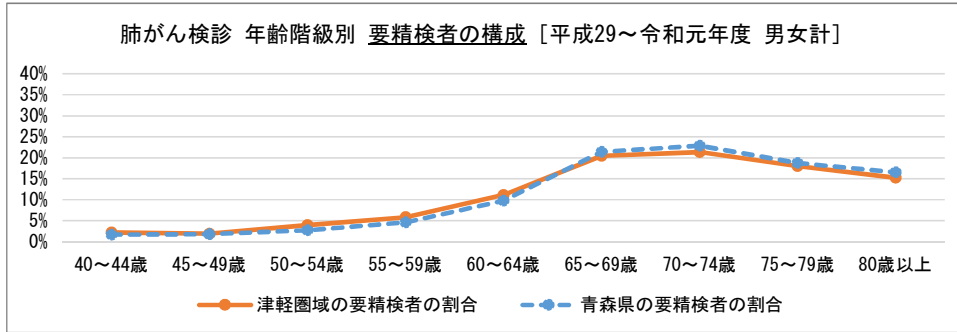
区分	津軽圏域	青森県	全国	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	許容値
受診者数	51,934	239,355	16,099,756	28,731	51,934	61,975	41,401	40,335	14,979	—
要精検者数	457	2,914	286,948	325	457	907	322	789	114	—
未把握者数	59	185	29,823	21	59	22	9	57	17	—
未受診者数	10	184	17,051	8	10	82	13	70	1	—
精検受診者数	388	2,545	240,074	296	388	803	300	662	96	—
がんであった者	13	76	6,895	15	13	11	18	9	10	—
要精検率	0.9%	1.2%	1.8%	1.1%	0.9%	1.5%	0.8%	2.0%	0.8%	3.0% 以下
精検受診率	84.9%	87.3%	83.7%	91.1%	84.9%	88.5%	93.2%	83.9%	84.2%	70% 以上
未受診率	2.2%	6.3%	5.9%	2.5%	2.2%	9.0%	4.0%	8.9%	0.9%	20% 以下
未把握率	12.9%	6.3%	10.4%	6.5%	12.9%	2.4%	2.8%	7.2%	14.9%	10% 以下
陽性反応適中度	2.8%	2.6%	2.4%	4.6%	2.8%	1.2%	5.6%	1.1%	8.8%	1.3% 以上
がん発見率	0.03%	0.03%	0.04%	0.05%	0.03%	0.02%	0.04%	0.02%	0.07%	0.03% 以上

[計算方法] ●要精検率=精検受診者数÷受診者数、●精検受診率=精検受診者数÷要精検者数、●未受診率=未受診者数÷要精検者数、●未把握率=未把握者数÷要精検者数、●陽性反応適中度=がんであった者÷要精検者数、●がん発見率=がんであった者÷受診者数

(出典：H30～R2年度地域保健・健康増進事業報告)

指標の意義・一般的な対策	
<p>精検受診率 未受診率 未把握率</p>	<ul style="list-style-type: none"> 要精検者の精検受診状況を測る指標です。 精検受診率が低ければ、死亡率減少につながらないため、検診受診率よりも精検受診率向上が優先されます。また、100%に近くなければ、がん発見率等を適切に評価できません。 精検結果回収の仕組みを整備し、精検未受診・未把握を適切に分類して、精検受診勧奨に取り組むことで、精検受診率100%に向けて取り組む必要があります。
要精検率	<ul style="list-style-type: none"> 検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているかを測る指標です。対象集団に応じて適切な範囲があり、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 要精検率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。
陽性反応適中度	<ul style="list-style-type: none"> 検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 陽性反応適中度が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。
がん発見率	<ul style="list-style-type: none"> 検診において、適正な頻度でがんを発見できたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 がん発見率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。

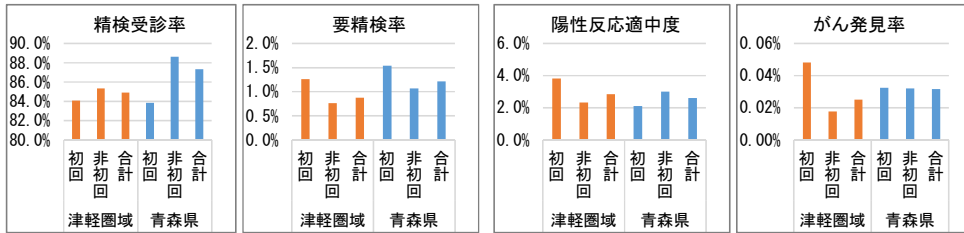
2. 肺がん検診の年齢階級別・受診歴別・検診方式別のプロセス指標



<肺がん検診の年齢階級別の要精検者数・精検受診者数・精検受診率 [平成29～令和元年度 男女計] >

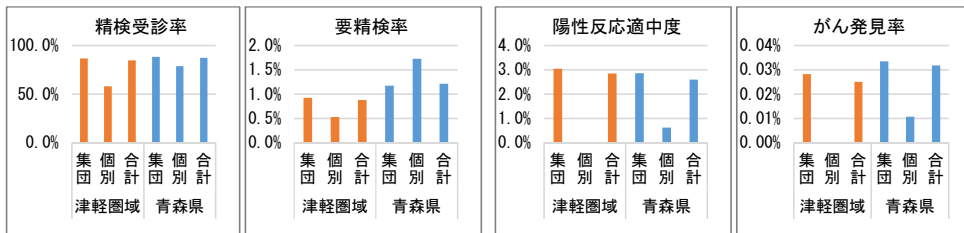
区分	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	40～74歳
津軽圏域 要精検者数	15	13	27	40	76	140	146	123	104	684	457
津軽圏域 精検受診者数	14	8	24	33	65	118	126	114	88	590	388
津軽圏域 精検受診率	93.3%	61.5%	88.9%	82.5%	85.5%	84.3%	86.3%	92.7%	84.6%	86.3%	84.9%
青森県 要精検者数	75	80	121	207	439	963	1,029	843	745	4,502	2,914
青森県 精検受診者数	65	64	99	179	385	845	908	765	654	3,964	2,545
青森県 精検受診率	86.7%	80.0%	81.8%	86.5%	87.7%	87.7%	88.2%	90.7%	87.8%	88.0%	87.3%

<肺がん検診の受診歴別のプロセス指標 [平成29～令和元年度 40歳～74歳 男女計] >



区分	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
津軽圏域 初回	12,459	157	132	6	1.3%	84.1%	3.8%	0.05%
津軽圏域 非初回	39,311	300	256	7	0.8%	85.3%	2.3%	0.02%
津軽圏域 合計	51,934	457	388	13	0.9%	84.9%	2.8%	0.03%
青森県 初回	58,703	904	758	19	1.5%	83.8%	2.1%	0.03%
青森県 非初回	171,501	1,830	1,622	55	1.1%	88.6%	3.0%	0.03%
青森県 合計	239,355	2,914	2,545	76	1.2%	87.3%	2.6%	0.03%

<肺がん検診の検診方式別のプロセス指標 [平成29～令和元年度 40歳～74歳 男女計] >



区分	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
津軽圏域 集団検診	46,082	426	370	13	0.9%	86.9%	3.1%	0.03%
津軽圏域 個別検診	5,852	31	18	0	0.5%	58.1%	0.0%	0.00%
津軽圏域 合計	51,934	457	388	13	0.9%	84.9%	2.8%	0.03%
青森県 集団検診	220,663	2,591	2,290	74	1.2%	88.4%	2.9%	0.03%
青森県 個別検診	18,692	323	255	2	1.7%	78.9%	0.6%	0.01%
青森県 合計	239,355	2,914	2,545	76	1.2%	87.3%	2.6%	0.03%

(出典：H30～R2年度地域保健・健康増進事業報告)

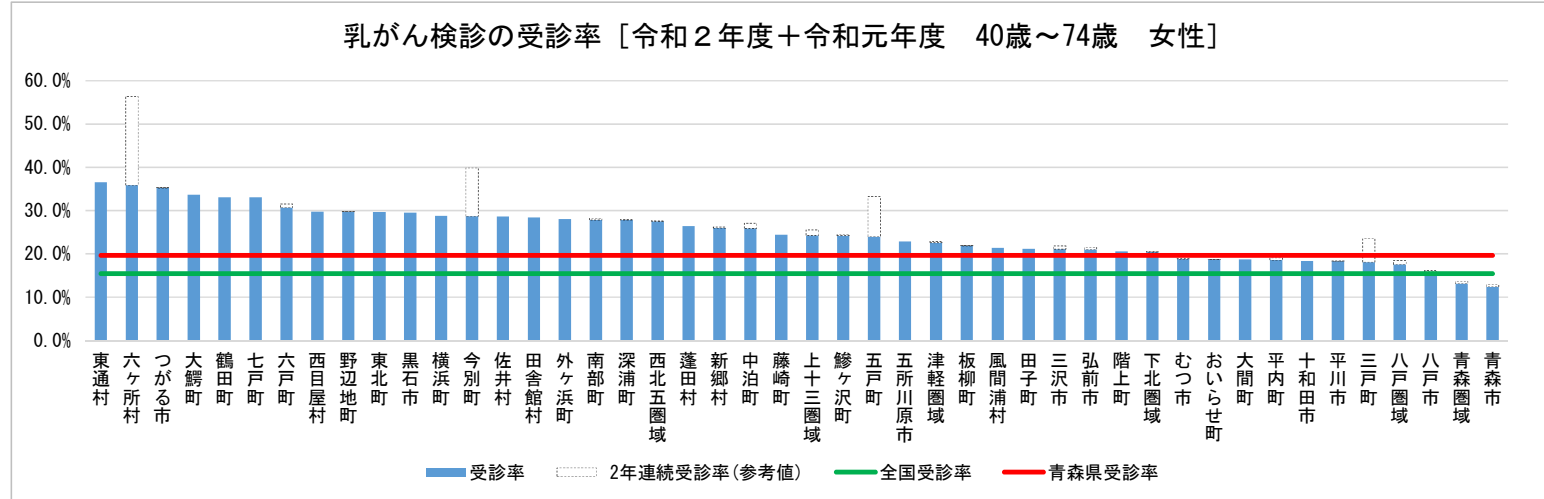
個別事項「プロセス指標」

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項
 [令和5年3月17日付け青が生第1744号通知]

令和2年度 乳がん検診プロセス指標 - 受診率 -

自治体名	津軽圏域
------	------

1. 乳がん検診の受診率



指標の意義・一般的な対策

- ・受診率は、高い方が望ましい指標です。受診間隔（2年に1回）を遵守し、精度管理により検診の質を高めた上で、受診率を上げていく必要があります。
- ・性別・年齢階級別/検診機関別/検診歴別（初回・非初回別）の集計・分析は、課題を検出し、対策を講じるうえで必要となるため、台帳の電子システム化等により行えるようにすることが必要です。
- ・特定の年齢層の受診率が低い場合や、初回受診者が少ない場合、個別の受診勧奨・再勧奨の実施や、検診の提供体制（キャパシティ、利便性等）の改善について検討が必要です。

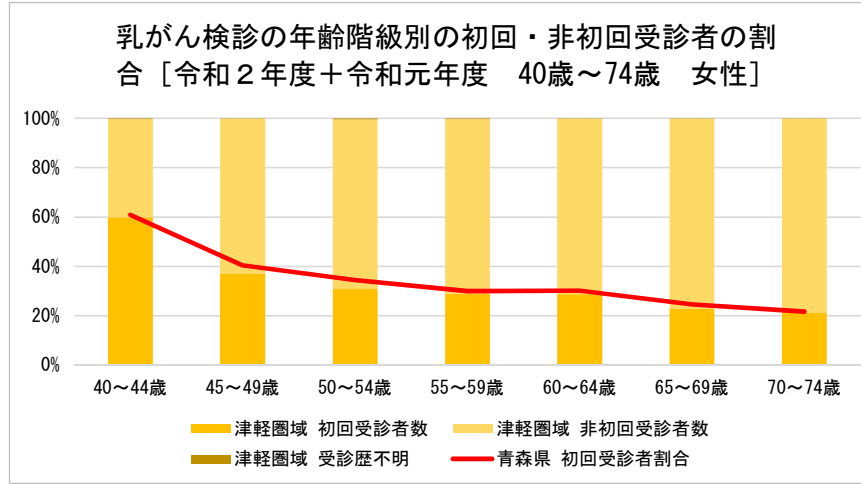
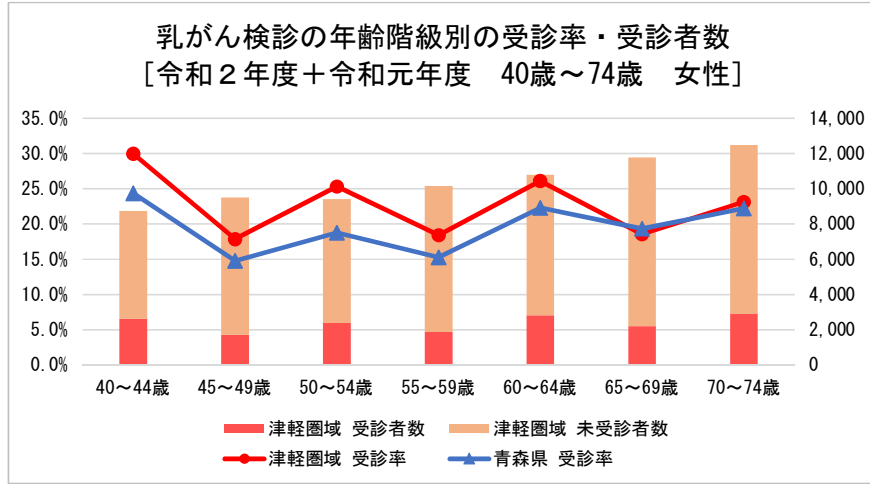
<乳がん検診の受診率 [令和2年度+令和元年度 40歳~74歳 女性]>

区分	全国	青森県	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	青森市	弘前市	八戸市	黒石市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市
受診率	15.4%	19.6%	13.2%	22.6%	17.6%	27.5%	24.3%	20.4%	12.4%	21.0%	15.8%	29.5%	22.9%	18.3%	21.1%	18.7%	35.2%	18.3%
順位	—	—	—	—	—	—	—	—	40位	30位	39位	11位	25位	36位	29位	32位	3位	37位
受診者数	4,664,443	64,357	10,593	16,479	14,231	9,138	10,228	3,688	9,283	9,319	9,186	2,569	3,321	2,906	1,906	2,712	2,859	1,442
対象者数	30,226,305	327,637	80,528	72,900	80,845	33,177	42,144	18,043	74,862	44,378	57,957	8,699	14,503	15,837	9,021	14,466	8,120	7,864
区分	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	鱈ヶ沢町	深浦町	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	鶴田町	中泊町	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町
受診率	18.6%	28.7%	26.4%	28.0%	24.2%	27.8%	29.8%	24.4%	33.7%	28.4%	21.8%	33.1%	25.9%	29.7%	33.0%	30.7%	28.8%	29.7%
順位	35位	13位	19位	16位	23位	18位	8位	22位	4位	15位	26位	5位	21位	9位	6位	7位	12位	10位
受診者数	531	177	187	415	608	565	89	914	830	545	771	1,059	726	1,010	1,277	799	297	1,250
対象者数	2,862	617	707	1,480	2,514	2,031	299	3,747	2,465	1,918	3,530	3,202	2,807	3,399	3,864	2,602	1,032	4,207
区分	六ヶ所村	おいらせ町	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村						
受診率	35.9%	18.7%	18.7%	36.5%	21.4%	28.6%	18.1%	24.0%	21.2%	27.8%	20.6%	26.0%						
順位	2位	33位	34位	1位	27位	14位	38位	24位	28位	17位	31位	20位						
受診者数	783	1,188	236	510	100	130	442	1,029	282	1,257	707	140						
対象者数	2,182	6,341	1,260	1,396	467	454	2,441	4,288	1,332	4,515	3,432	539						

[受診率の計算方法について]
 $(R2年度の受診者数 - R2年度の2年連続受診者数 + R元年度の受診者数) \div R2年度の対象者数 = 受診率$
 ※他のプロセス指標に合わせ、75歳未満の受診率を計算しているため他の統計の受診率と異なる。

(出典：R2年度地域保健・健康増進事業報告) ※対象者数(分母)は対象年齢の全住民で、受診者数(分子)は市町村事業の受診者数であり、職域や人間ドックで受診している者は含まれていない。

2. 乳がん検診の受診者の状況



<乳がん検診の年齢階級別の受診者数・受診率 [令和2年度+令和元年度 女性]>

区分		40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	40～69歳	40～74歳
津軽圏域	対象者数	8,747	9,515	9,411	10,152	10,798	11,785	12,492			72,900	60,408	72,900
津軽圏域	受診者数	2,621	1,702	2,383	1,870	2,821	2,188	2,894	1,045	618	18,142	13,585	16,479
津軽圏域	初回受診者数	1,570	628	734	541	811	499	619	237	179	5,818	4,783	5,402
津軽圏域	非初回受診者数	1,045	1,072	1,639	1,325	2,006	1,686	2,271	808	439	12,291	8,773	11,044
津軽圏域	受診歴不明	6	2	10	4	4	3	4	0	0	33	29	33
津軽圏域	受診率	30.0%	17.9%	25.3%	18.4%	26.1%	18.6%	23.2%				22.5%	22.6%
青森県	対象者数	38,433	43,778	43,164	44,132	47,787	53,630	56,713			327,637	270,924	327,637
青森県	受診者数	9,371	6,475	8,112	6,750	10,663	10,376	12,610	5,180	2,877	72,414	51,747	64,357
青森県	初回受診者数	5,702	2,612	2,796	2,025	3,217	2,544	2,728	1,204	762	23,590	18,896	21,624
青森県	非初回受診者数	3,469	3,756	5,167	4,614	7,298	7,704	9,762	3,952	2,100	47,822	32,008	41,770
青森県	受診歴不明	200	107	149	111	148	128	120	24	15	1,002	843	963
青森県	受診率	24.4%	14.8%	18.8%	15.3%	22.3%	19.3%	22.2%				19.1%	19.6%

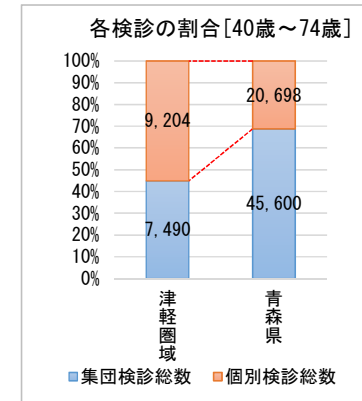
*受診者数はR元年度とH30年度の受診者数の合計からR元年度の2年連続受診者数を除いた人数である。

*初回受診者数と非初回受診者数の合計が受診者数と一致しない、または初回受診者数と非初回受診者数を計上していない市町村があるため、そのような場合は受診歴不明として計上している。

*対象者数から受診者数を除いた人数を未受診者数と定義しているが、実際は職場や人間ドック等でがん検診を受診している者が含まれている。

※初回受診者＝過去3年間に受診歴がない者

※非初回受診者＝過去3年間に受診歴がある者



個別事項「プロセス指標」 (別紙8とは対象年度が異なる点に留意)

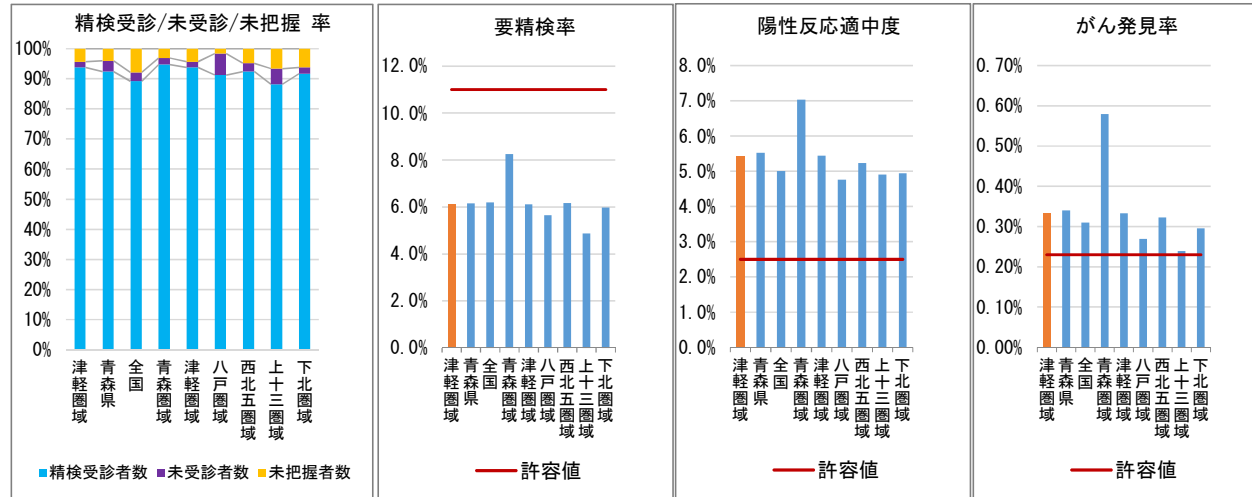
別紙8_参考2

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項
[令和5年3月17日付け青が生第1744号通知]

平成29～令和元年度 乳がん検診プロセス指標 - 受診率を除く -

自治体名	津軽圏域
------	------

1. 乳がん検診のプロセス指標 (受診率を除く)



※許容値以下で極端な高低がないこと ※許容値以上で極端な高低がないこと ※許容値以上で極端な高低がないこと

<乳がん検診のプロセス指標 [平成29～令和元年度 40歳～74歳 女性]>

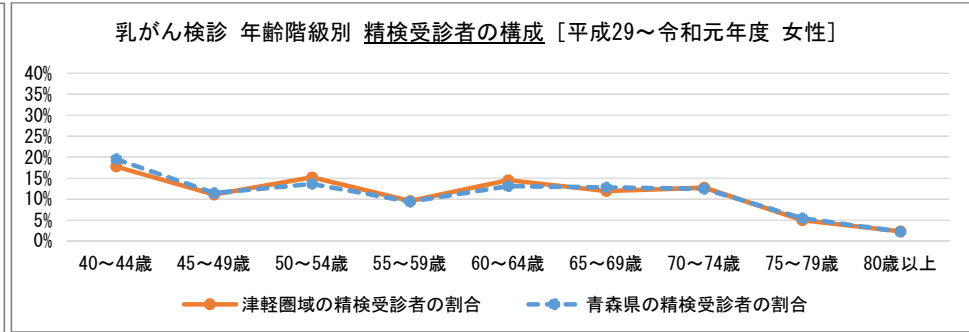
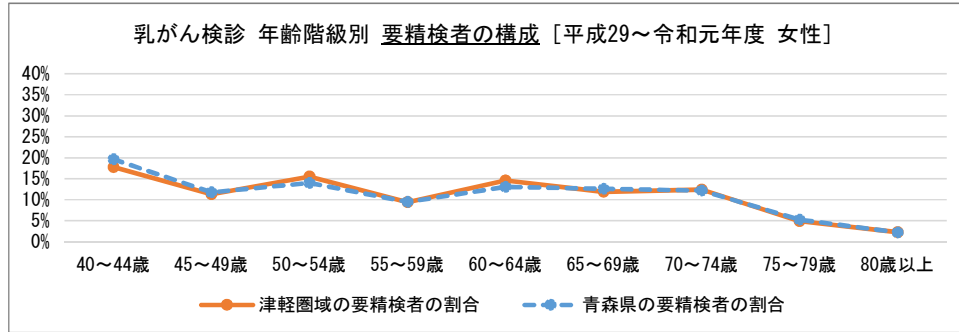
区分	津軽圏域	青森県	全国	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	許容値
受診者数	27,038	105,824	8,409,371	17,255	27,038	22,678	14,882	17,547	6,424	—
要精検者数	1,653	6,515	520,831	1,423	1,653	1,281	918	856	384	—
未把握者数	72	262	40,820	44	72	21	44	57	24	—
未受診者数	31	231	15,518	31	31	91	26	44	8	—
精検受診者数	1,550	6,022	464,493	1,348	1,550	1,169	848	755	352	—
がんであった者	90	360	26,076	100	90	61	48	42	19	—
要精検率	6.1%	6.2%	6.2%	8.2%	6.1%	5.6%	6.2%	4.9%	6.0%	11.0% 以下
精検受診率	93.8%	92.4%	89.2%	94.7%	93.8%	91.3%	92.4%	88.2%	91.7%	80% 以上
未受診率	1.9%	3.5%	3.0%	2.2%	1.9%	7.1%	2.8%	5.1%	2.1%	10% 以下
未把握率	4.4%	4.0%	7.8%	3.1%	4.4%	1.6%	4.8%	6.7%	6.3%	10% 以下
陽性反応適中度	5.4%	5.5%	5.0%	7.0%	5.4%	4.8%	5.2%	4.9%	4.9%	2.5% 以上
がん発見率	0.33%	0.34%	0.31%	0.58%	0.33%	0.27%	0.32%	0.24%	0.30%	0.23% 以上

指標の意義・一般的な対策	
精検受診率 未受診率 未把握率	<ul style="list-style-type: none"> 要精検者の精検受診状況を測る指標です。 精検受診率が低ければ、死亡率減少につながらないため、検診受診率よりも精検受診率向上が優先されます。また、100%に近くなければ、がん発見率等を適切に評価できません。 精検結果回収の仕組みを整備し、精検未受診・未把握を適切に分類して、精検受診勧奨に取り組むことで、精検受診率100%に向けて取り組む必要があります。
要精検率	<ul style="list-style-type: none"> 検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているかを測る指標です。対象集団に応じて適切な範囲があり、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 要精検率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。
陽性反応適中度	<ul style="list-style-type: none"> 検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 陽性反応適中度が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。
がん発見率	<ul style="list-style-type: none"> 検診において、適正な頻度でがんを発見できたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 がん発見率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。

[計算方法] ●要精検率=精検受診者数÷受診者数、●精検受診率=精検受診者数÷要精検者数、●未受診率=未受診者数÷要精検者数、●未把握率=未把握者数÷要精検者数、●陽性反応適中度=がんであった者÷要精検者数、●がん発見率=がんであった者÷受診者数

(出典：H30～R2年度地域保健・健康増進事業報告)

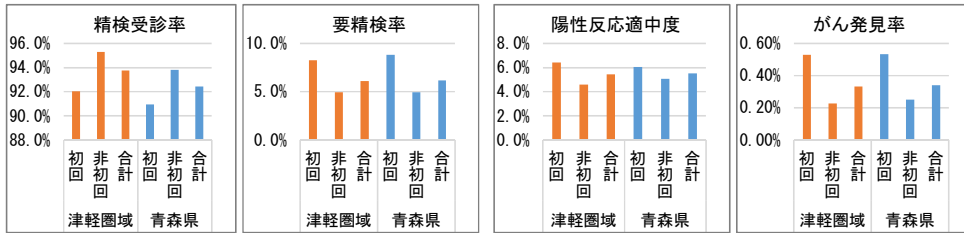
2. 乳がん検診の年齢階級別・受診歴別・検診方式別のプロセス指標



<乳がん検診の年齢階級別の要精検者数・精検受診者数・精検受診率 [平成29～令和元年度 女性]>

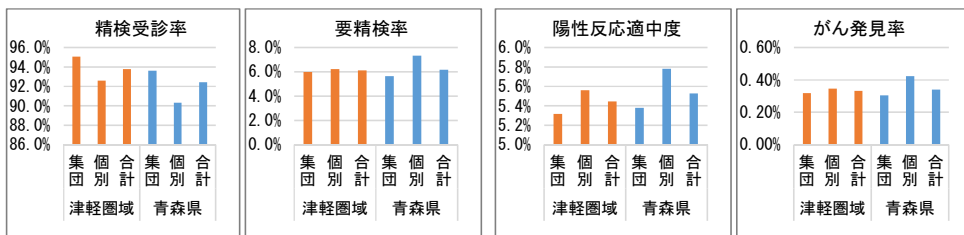
区分		40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	40～74歳
津軽圏域	要精検者数	316	201	276	168	260	211	221	87	40	1,780	1,653
津軽圏域	精検受診者数	297	185	254	160	242	199	213	83	39	1,672	1,550
津軽圏域	精検受診率	94.0%	92.0%	92.0%	95.2%	93.1%	94.3%	96.4%	95.4%	97.5%	93.9%	93.8%
青森県	要精検者数	1,382	827	983	666	918	884	855	370	155	7,040	6,515
青森県	精検受診者数	1,274	746	889	614	855	833	811	355	146	6,523	6,022
青森県	精検受診率	92.2%	90.2%	90.4%	92.2%	93.1%	94.2%	94.9%	95.9%	94.2%	92.7%	92.4%

<乳がん検診の受診歴別のプロセス指標 [平成29～令和元年度 40歳～74歳 女性]>



区分	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
津軽圏域	初回	9,432	779	717	8.3%	92.0%	6.4%	0.53%
津軽圏域	非初回	17,561	870	829	5.0%	95.3%	4.6%	0.23%
津軽圏域	合計	27,038	1,653	1,550	6.1%	93.8%	5.4%	0.33%
青森県	初回	34,317	3,026	2,752	8.8%	90.9%	6.0%	0.53%
青森県	非初回	68,584	3,386	3,176	4.9%	93.8%	5.1%	0.25%
青森県	合計	105,824	6,515	6,022	6.2%	92.4%	5.5%	0.34%

<乳がん検診の検診方式別のプロセス指標 [平成29～令和元年度 40歳～74歳 女性]>



区分	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
津軽圏域	集団検診	13,199	790	751	6.0%	95.1%	5.3%	0.32%
津軽圏域	個別検診	13,839	863	799	6.2%	92.6%	5.6%	0.35%
津軽圏域	合計	27,038	1,653	1,550	6.1%	93.8%	5.4%	0.33%
青森県	集団検診	73,479	4,145	3,881	5.6%	93.6%	5.4%	0.30%
青森県	個別検診	32,345	2,370	2,141	7.3%	90.3%	5.8%	0.42%
青森県	合計	105,824	6,515	6,022	6.2%	92.4%	5.5%	0.34%

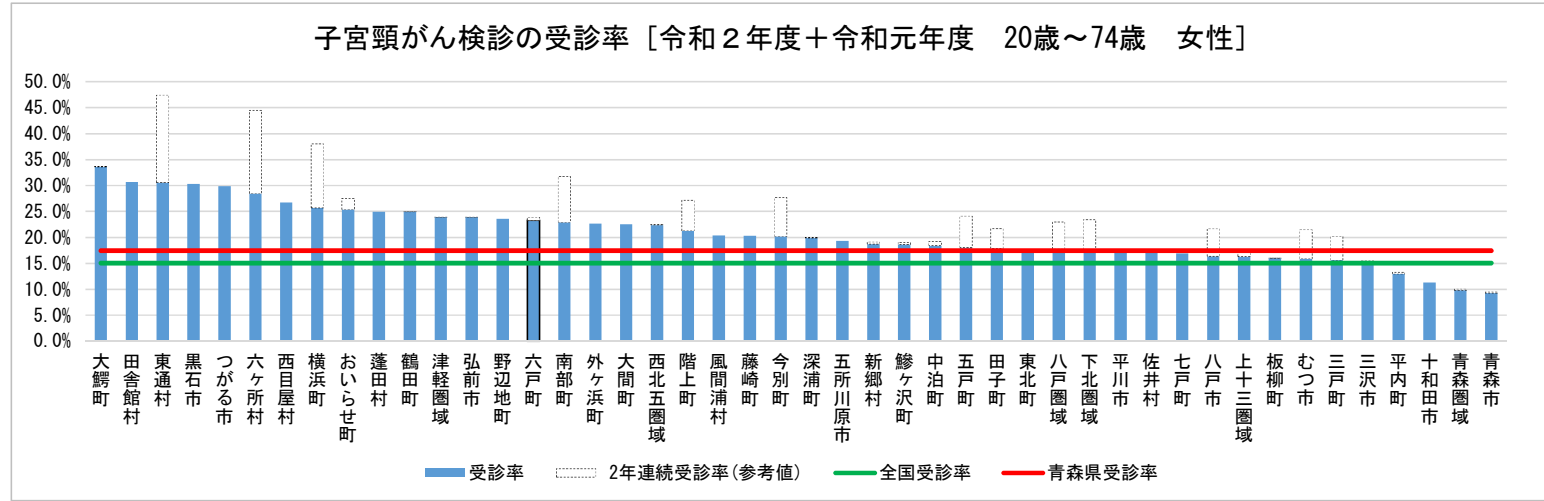
個別事項「プロセス指標」

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項
 [令和5年3月17日付け青が生第1744号通知]

令和2年度 子宮頸がん検診プロセス指標 - 受診率 -

自治体名	津軽圏域
------	------

1. 子宮頸がん検診の受診率



指標の意義・一般的な対策

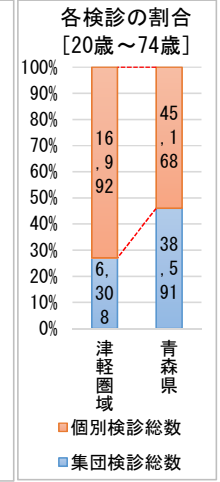
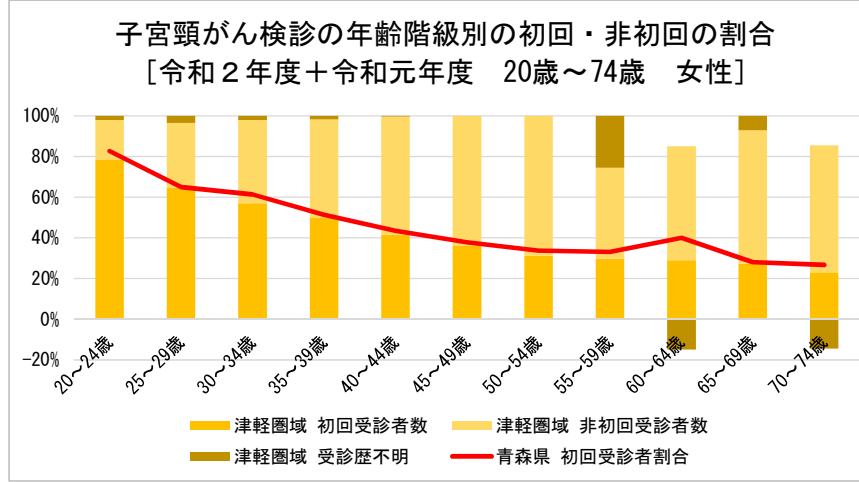
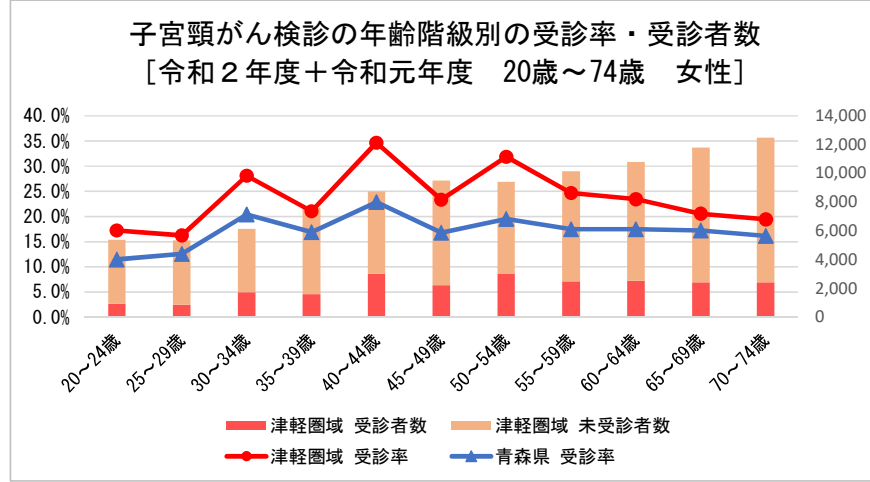
- ・受診率は、高い方が望ましい指標です。受診間隔（2年に1回）を遵守し、精度管理により検診の質を高めた上で、受診率を上げていく必要があります。
- ・性別・年齢階級別/検診機関別/検診歴別（初回・非初回別）の集計・分析は、課題を検討し、対策を講じるうえで必要となるため、台帳の電子システム化等により行えるようにすることが必要です。
- ・特定の年齢層の受診率が低い場合や、初回受診者が少ない場合、個別の受診勧奨・再勧奨の実施や、検診の提供体制（キャパシティ、利便性等）の改善について検討が必要です。

<子宮頸がん検診の受診率 [令和2年度+令和元年度 20歳~74歳 女性] >

区分	全国	青森県	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	青森市	弘前市	八戸市	黒石市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市
受診率	15.0%	17.4%	9.8%	23.9%	17.7%	22.4%	16.3%	17.6%	9.3%	23.9%	16.4%	30.3%	19.3%	11.3%	15.4%	15.9%	29.9%	17.5%
順位	—	—	—	—	—	—	—	—	40位	12位	33位	4位	23位	39位	37位	35位	5位	30位
受診者数	6,535,864	75,766	10,486	23,269	19,165	9,467	9,211	4,168	9,261	14,363	12,784	3,460	3,616	2,366	2,000	3,028	3,134	1,802
対象者数	43,435,913	434,366	106,708	97,382	107,981	42,290	56,381	23,624	99,771	60,130	78,114	11,420	18,733	20,863	12,971	19,046	10,483	10,296
区分	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	鱒ヶ沢町	深浦町	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	鶴田町	中泊町	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町
受診率	13.0%	20.2%	24.9%	22.7%	18.6%	19.9%	26.7%	20.3%	33.6%	30.7%	16.0%	24.9%	18.4%	23.6%	17.0%	23.3%	25.7%	17.8%
順位	38位	21位	10位	16位	25位	22位	7位	20位	1位	2位	34位	11位	26位	13位	32位	14位	8位	29位
受診者数	466	145	221	393	580	481	105	1,027	1,014	769	729	1,025	631	988	833	828	346	973
対象者数	3,598	719	887	1,733	3,111	2,420	393	5,057	3,022	2,508	4,556	4,114	3,429	4,189	4,910	3,549	1,347	5,475
区分	六ヶ所村	おいらせ町	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	[受診率の計算方法について]					
受診率	28.5%	25.4%	22.6%	30.6%	20.4%	17.2%	15.6%	18.0%	17.9%	22.9%	21.3%	18.7%	(R2年度の受診者数-R2年度の2年連続受診者数+R1年度の受診者数)÷R2年度の対象者数=受診率					
順位	6位	9位	17位	3位	19位	31位	36位	27位	28位	15位	18位	24位	※他のプロセス指標に合わせ、75歳未満の受診率を計算しているため他の統計の受診率と異なる。					
受診者数	877	2,225	363	566	116	95	478	990	295	1,315	953	125						
対象者数	3,077	8,774	1,609	1,850	568	551	3,058	5,488	1,652	5,748	4,478	669						

(出典：R2年度地域保健・健康増進事業報告) ※対象者数(分母)は対象年齢の全住民で、受診者数(分子)は市町村事業の受診者数であり、職域や人間ドックで受診している者は含まれていない。

2. 子宮頸がん検診の受診者の状況



< 子宮頸がん検診の年齢階級別の受診者数・受診率 [令和2年度+令和元年度 女性] >

※初回受診者＝過去3年間に受診歴がない者、非初回受診者＝過去3年間に受診歴がある者

区分		20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	20～69歳	20～74歳
津軽圏域	対象者数	5,385	5,342	6,138	7,617	8,747	9,515	9,411	10,152	10,798	11,785	12,492	30,872		128,254	84,890	97,382
津軽圏域	受診者数	928	868	1,724	1,604	3,033	2,223	2,998	2,505	2,535	2,425	2,426	1,866	800	25,935	20,843	23,269
津軽圏域	初回受診者数	729	561	983	800	1,261	807	935	744	1,048	662	786	377	485	10,178	8,530	9,316
津軽圏域	非初回受診者数	180	277	706	778	1,763	1,416	2,063	1,123	2,026	1,591	2,134	1,154	1,145	16,356	11,923	14,057
津軽圏域	受診歴不明	19	30	35	26	9	0	0	638	△ 539	172	△ 494	335	△ 830	△ 599	390	△ 104
津軽圏域	受診率	17.2%	16.2%	28.1%	21.1%	34.7%	23.4%	31.9%	24.7%	23.5%	20.6%	19.4%	8.6%		20.2%	24.6%	23.9%
青森県	対象者数	23,129	23,141	27,034	33,425	38,433	43,778	43,164	44,132	47,787	53,630	56,713	138,008		572,374	377,653	434,366
青森県	受診者数	2,651	2,909	5,521	5,639	8,780	7,349	8,441	7,703	8,358	9,246	9,169	7,619	3,411	86,796	66,597	75,766
青森県	初回受診者数	2,192	1,892	3,388	2,894	3,818	2,785	2,841	2,552	3,340	2,592	2,450	1,412	1,563	33,719	28,294	30,744
青森県	非初回受診者数	376	881	1,956	2,538	4,640	4,329	5,355	3,576	5,814	5,799	6,514	4,394	4,139	50,311	35,264	41,778
青森県	受診歴不明	83	136	177	207	322	235	245	1,575	△ 796	855	205	1,813	△ 2,291	2,766	3,039	3,244
青森県	受診率	11.5%	12.6%	20.4%	16.9%	22.8%	16.8%	19.6%	17.5%	17.5%	17.2%	16.2%	8.0%		15.2%	17.6%	17.4%

※受診者数はR2年度とR1年度の受診者数の合計からR2年度の2年連続受診者数を除いた人数である。

※初回受診者数と非初回受診者数の合計が受診者数と一致しない、または初回受診者数と非初回受診者数を計上していない市町村があるため、そのような場合は受診歴不明として計上している。

※対象者数から受診者数を除いた人数を未受診者数と定義しているが、実際は職場や人間ドック等でがん検診を受診している者が含まれている。

個別事項「プロセス指標」（別紙9とは対象年度が異なる点に留意）

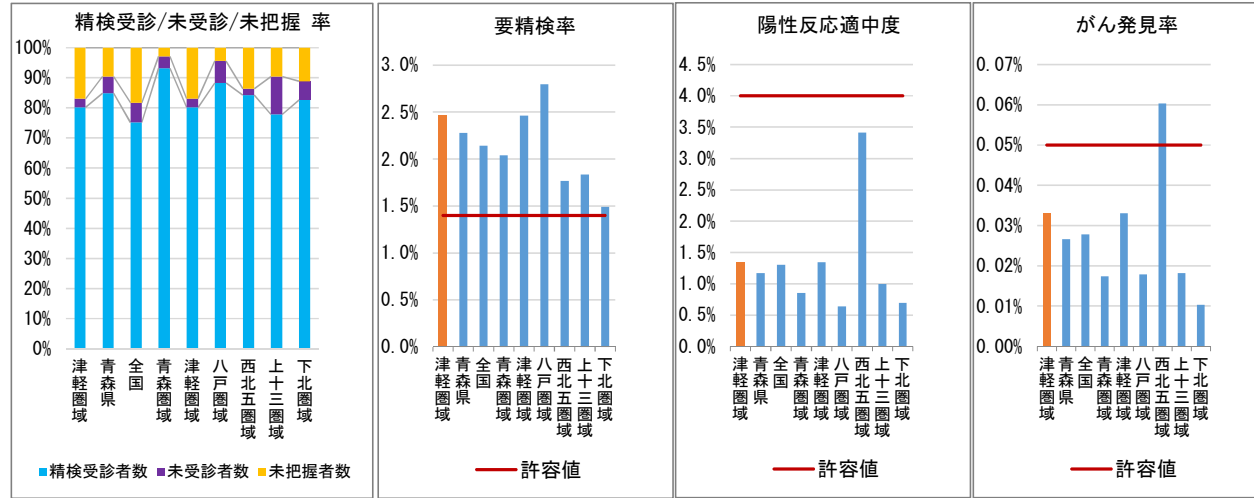
別紙9_参考2

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項
[令和5年3月17日付け青が生第1744号通知]

平成29～令和元年度 子宮頸がん検診プロセス指標－受診率を除く－

自治体名	津軽圏域
------	------

1. 子宮頸がん検診のプロセス指標（受診率を除く）



※許容値以下で極端な高低がないこと ※許容値以上で極端な高低がないこと ※許容値以上で極端な高低がないこと

<子宮頸がん検診のプロセス指標 [平成29～令和元年度 20歳～74歳 女性]>

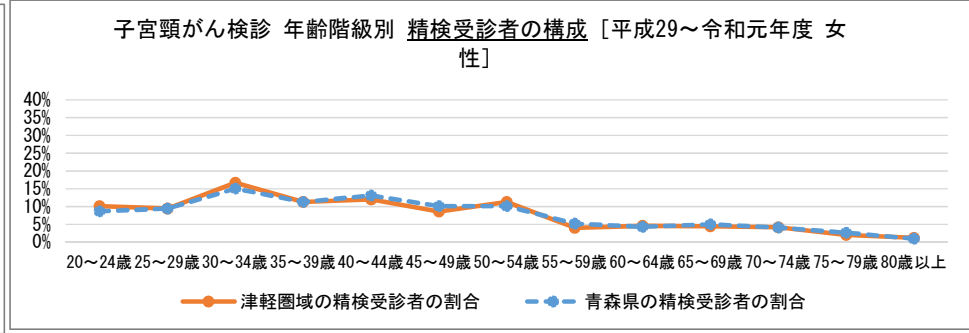
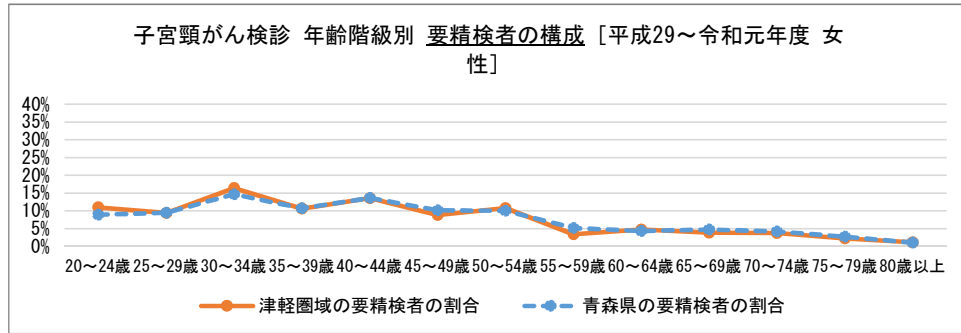
区分	津軽圏域	青森県	全国	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	許容値
受診者数	36,321	135,366	11,971,875	17,205	36,321	39,176	16,574	16,435	9,655	—
要精検者数	895	3,081	256,156	351	895	1,096	293	302	144	—
未把握者数	152	295	46,912	10	152	48	40	29	16	—
未受診者数	25	172	16,716	14	25	80	6	38	9	—
精検受診者数	718	2,614	192,528	327	718	968	247	235	119	—
がんであった者	12	36	3,336	3	12	7	10	3	1	—
要精検率	2.5%	2.3%	2.1%	2.0%	2.5%	2.8%	1.8%	1.8%	1.5%	1.4% 以下
精検受診率	80.2%	84.8%	75.2%	93.2%	80.2%	88.3%	84.3%	77.8%	82.6%	70% 以上
未受診率	2.8%	5.6%	6.5%	4.0%	2.8%	7.3%	2.0%	12.6%	6.3%	20% 以下
未把握率	17.0%	9.6%	18.3%	2.8%	17.0%	4.4%	13.7%	9.6%	11.1%	10% 以下
陽性反応適中度	1.3%	1.2%	1.3%	0.9%	1.3%	0.6%	3.4%	1.0%	0.7%	4.0% 以上
がん発見率	0.03%	0.03%	0.03%	0.02%	0.03%	0.02%	0.06%	0.02%	0.01%	0.05% 以上

指標の意義・一般的な対策	
精検受診率 未受診率 未把握率	<ul style="list-style-type: none"> 要精検者の精検受診状況を測る指標です。 精検受診率が低ければ、死亡率減少につながらないため、検診受診率よりも精検受診率向上が優先されます。また、100%に近くなければ、がん発見率等を適切に評価できません。 精検結果回収の仕組みを整備し、精検未受診・未把握を適切に分類して、精検受診勧奨に取り組むことで、精検受診率100%に向けて取り組む必要があります。
要精検率	<ul style="list-style-type: none"> 検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているかを測る指標です。対象集団に応じて適切な範囲があり、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 要精検率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。
陽性反応適中度	<ul style="list-style-type: none"> 検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 陽性反応適中度が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。
がん発見率	<ul style="list-style-type: none"> 検診において、適正な頻度でがんを発見できたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 がん発見率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。

[計算方法] ●要精検率=精検受診者数÷受診者数、●精検受診率=精検受診者数÷要精検者数、●未受診率=未受診者数÷要精検者数、●未把握率=未把握者数÷要精検者数、●陽性反応適中度=がんであった者÷要精検者数、●がん発見率=がんであった者÷受診者数

(出典：H30～R2年度地域保健・健康増進事業報告)

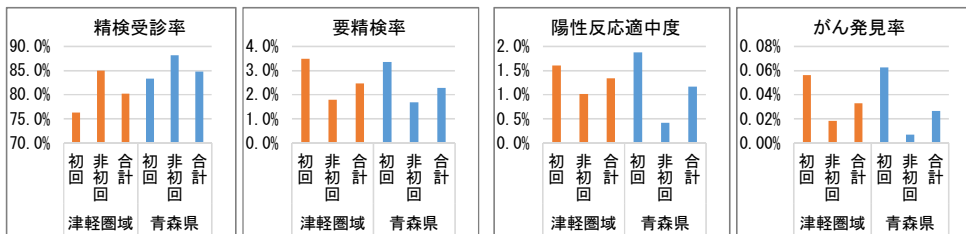
2. 子宮頸がん検診の年齢階級別・受診歴別・検診方式別のプロセス指標



<子宮頸がん検診の年齢階級別の要精検者数・精検受診者数・精検受診率 [平成29～令和元年度 女性] >

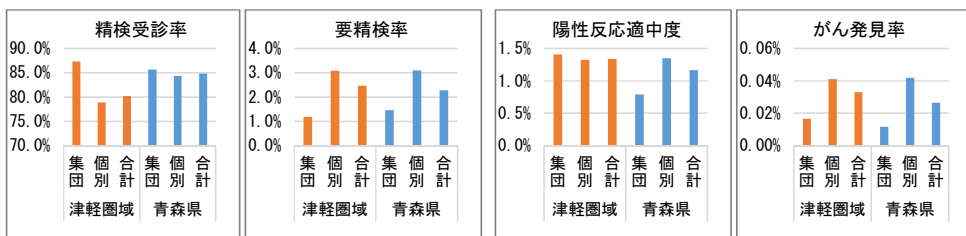
区分		20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	20～74歳
津軽圏域	要精検者数	102	87	152	99	126	82	100	32	44	36	35	21	11	927	895
津軽圏域	精検受診者数	75	70	124	84	89	64	84	30	34	33	31	15	9	742	718
津軽圏域	精検受診率	73.5%	80.5%	81.6%	84.8%	70.6%	78.0%	84.0%	93.8%	77.3%	91.7%	88.6%	71.4%	81.8%	80.0%	80.2%
青森県	要精検者数	285	303	471	344	437	326	322	165	140	153	135	89	34	3,204	3,081
青森県	精検受診者数	235	255	408	307	355	275	274	141	117	136	111	71	2,711	2,614	
青森県	精検受診率	82.5%	84.2%	86.6%	89.2%	81.2%	84.4%	85.1%	85.5%	83.6%	88.9%	82.2%	79.8%	76.5%	84.6%	84.8%

<子宮頸がん検診の受診歴別のプロセス指標 [平成29～令和元年度 20歳～74歳 女性] >



区分	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率	
津軽圏域	初回	14,244	498	380	8	3.5%	76.3%	1.6%	0.06%
津軽圏域	非初回	21,895	394	335	4	1.8%	85.0%	1.0%	0.02%
津軽圏域	合計	36,321	895	718	12	2.5%	80.2%	1.3%	0.03%
青森県	初回	46,150	1,545	1,288	29	3.3%	83.4%	1.9%	0.06%
青森県	非初回	84,740	1,431	1,262	6	1.7%	88.2%	0.4%	0.01%
青森県	合計	135,366	3,081	2,614	36	2.3%	84.8%	1.2%	0.03%

<子宮頸がん検診の検診方式別のプロセス指標 [平成29～令和元年度 20歳～74歳 女性] >



区分	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率	
津軽圏域	集団検診	11,976	142	124	2	1.2%	87.3%	1.4%	0.02%
津軽圏域	個別検診	24,345	753	594	10	3.1%	78.9%	1.3%	0.04%
津軽圏域	合計	36,321	895	718	12	2.5%	80.2%	1.3%	0.03%
青森県	集団検診	68,602	1,008	864	8	1.5%	85.7%	0.8%	0.01%
青森県	個別検診	66,764	2,073	1,750	28	3.1%	84.4%	1.4%	0.04%
青森県	合計	135,366	3,081	2,614	36	2.3%	84.8%	1.2%	0.03%